

大谷大学広報

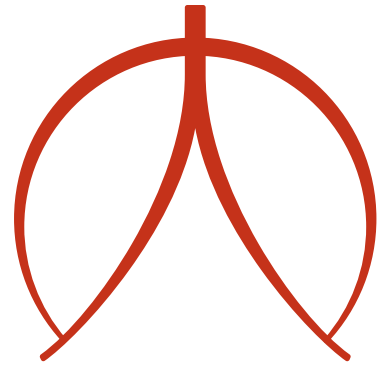
編集 大谷大学広報編集委員会

No.164

2006年1月12日

冬

2005



幼教フェスティバルより

谷コレ、何コレ？

大谷大学コレクション2005

2005年度課外活動 秋季大会結果

学問のしおり

「このこと一つ」の学問
水島 見一

谷大エリア散策

ル・プランール

写真でふりかえる大谷大学今昔

特別展「ファウスト 伝説と作品」と
ドイツ文学講座を支えた三教授

SQUARE

マナーモード
谷口 奈青理

冬扇

「古詩十九首」という、中国は後漢の頃、作者の名を記さない一群の詩がある。そこに歌われているのは、人生は死へと向かう短い時間であるという認識、それに基づいた快樂の追求である。「生年 百に満たざるに、常に千歳の憂を懐く。昼短く 夜の長きに苦しむ、何ぞ燭を乗って遊ばざる」(其十五)

共感と同時に、違和感を覚えるのは、生死という問題の解決策として挙げられているのが、現世における

榮達であり、物質的な充足であって、精神的なものへと向かう傾きがないことだ。こうした思想の淵源をたどれば、戦国時代前期の楊朱に行き着く。諸子百家にあって、彼は徹底した快樂を説いた。しかし考えてみれば、こうした思想は楊朱以前にも、五百年後の「古詩」の時代にも、常にひとびとの意識の底流にあったに違いない。われわれにおいてさえ、なおそうであろう。

ところで、詩の歴史においては、初唐の盧照鄰にひとつの変化が見ら

れる、と思う。「長安古意」に描かれる榮華の都長安は、篇末にいたって一瞬のうちに消滅するのだが、詩人は変化するもののなかに、永続するものを見ようとしているかに思える。そこには恐らく仏教的なものの見方が反映されている。証明することは難しいけれども。

さて求道と快樂と、この古くからの問いに対して、いまを生きるわれわれは、どのような解決を見いだすのであろうか。

(乾 源俊)

谷コレ、何コレ？

大谷大学コレクション 2005

「衣服は単なる物体ではなく、着る(選ぶ)人の精神がかたちとして表れるものなんだな」と再認識させられる今回のテーマは《大谷大学コレクション2005》です。

一目見て、「何!? これ?!」と思わず叫びたくなるような個性的なファッションから、いわれてはじめて「なるほど、これか」と納得するこだわりのファッションまで、キャンパスを歩けば必ずどこかにいるはずのあの人・この人に登場願いました。オールカラー・全身写真付で《谷コレ》の開幕です!

進化するファッション

吉川 了真



真っ赤なコンバースのオールスター、それが小学校6年生のときに初めて自分で購入したアイテムだ。好きな女の子との待ち合わせ中、真っ赤なスニーカーにお気に入りのデニム姿で弾んだ気持ちになったことを覚えている。ファッションは、外見だけのものではなく、見せて、見られる数秒間への思いも大切だと僕は思う。

今、僕は自分のブランド「Ryoshin」を立ち上げ、洋服やアクセサリを作っている。個性的な素材を見つけ、スパイスの利いた新作が完成した時は充実感でいっぱいになる。今日、胸元につけているアクセサリも、素材を活かして作った一点ものだ。チェーンを重ね、小さなベルやチュッパチャプスの食玩などを組み合わせてみた。全体の服のバランスはもちろん大切だけれど、アクセサリや巻物などの小物でも服の表情は、ぐんと変わる。雰囲気を変えたいときは小物で色々な表情を引き出せる。アクセサリはシーズン問わず使えるアイテムでもあるし、男性も積極的にファッションに取り入れていっ

てもらえたらと思う。また自分が作ったアクセサリをいろいろな人に手にとってもらい、身につけてもらえたら最高だ。僕はヴィヴィアン・ウエストウッドとヤポンスキーが好きなのだが、愛され、身につける人を幸せにし、大切にもらえるセンスのいいものをたくさん作っていききたいと思う。

また僕にとってショップを覗くことは、すごく刺激になり、店員さんと話をするのも楽しみだ。よく顔を出していたセレクトショップ「デバイス」(御幸町通六角下ル)の店員さんには「うちのファッションショーにモデルとして出ませんか?」と声をかけてもらい、11月27日に大阪で行われたspinnとVantanのコラボレーションイベント「まわる大創作展〜ザ・ムービング〜オレンジストリートを封鎖せよ!!」で「デバイスのファッションショー」のモデルとして出させてもらった。緊張もあったが、とてもいい経験で得るものは大きく、イベント終了後は気持ちよかった。ショーを通していろんな人やデザイナーと知り合うことができ、とても幸せな1日だった。やっぱり、この場所からいい刺激やこれからのファッションは進化していくんだらうなと思った。最高だった。

格好いい素敵なオヤジになれるよう、これからも「らしさ」を大切にしたいファッションを作っていきたいと思う。

(よしかわ りょうしん)
(正宗学科 第3学年)



- Q.1 今日のファッションポイントは?
A.1 オリジナルアクセ
- Q.2 好きなブランドは何?
A.2 ヴィヴィアン・ウエストウッド
- Q.3 よく読む雑誌は何?
A.3 「TUNE」、「SEDA」
- Q.4 今、行ってみたい場所はどこ?
A.4 海遊館、ロンドン



大好きな
ヴィヴィアン



新作ブローチ



胸元のポイント

私のシンプルコーディネート

小峠 嘉奈子



最近BEAMSで購入したツイードのジャケットが秋冬アイテムでもお気に入り。母親から譲り受けたSEIKOの時計との相性もばっちりだ。私のコーディネートは、基本的に「シンプル」を心がけている。

靴はアクセント程度と思われがちだが、私にとっては大切なポイントの1つだ。今日履いている黄土色の蛇柄の靴も丸みを帯びたフォルムのラウンドトゥであまりのかわいさに一目惚れ買ってしまった。スカートよりもパンツをはくことが多い私は、フリルや飾りが多くついたものよりも着こなしの幅が広いシンプルなものを無意識に選んでいる気がする。甘い色だけで全身をまとめるのは苦手で、茶や黒が大好きなので、さし色にゴールドをもってくることが多い。せっかく女の子に生まれたのだからと、最近はラインが綺麗に映える服を選んで、着デブにならないようにしている。最近流行の美脚パンツの威力もすごいと感じる。

そんなことを考えつつ日々を過ごしているのだが、ファッションに対しての胸キュンは、恋に落ちることと同じく、一目惚れをしてしまったらもうおしまいだ。「かわいい!!」叫んでレジに直行。財布の中身は寂しくなってしまうけれど、帰宅して、今日の戦利品の包みを開ける瞬間の幸福感は、筆舌に尽くし難い。女の子なら誰もが感じたことのある気持ちだろう。

ちょっと、いつもより大人っぽい服装をしたり、シンプルな中にもかわい部分がある服を着たり、装う

ことで新しい自分をどんどん発見することがある。今季にしか出逢えない服もある。どんな場面でも、その時、その場面のオシャレを楽しみたいものだ。

(ことうげ かなこ)
史学科 第4学年



サリーを着用



ラウンドトゥシューズ



- Q.1 今日のファッションポイントは?
A.1 蛇柄のラウンドトゥシューズ
- Q.2 よく行くお店はどこ?
A.2 BEAMS
- Q.3 よく読むファッション雑誌は何?
A.3 『Sweet』、『In Red』
- Q.4 今日のカバンの中身は?
A.4 財布、携帯電話、ウォークマン
化粧ポーチ、裁縫道具

CONTENTS

- p. 2…谷コレ、何コレ?
p. 7…CAMPUS☆TOPICS
p.15…「学生向け情報提供システム」
からのお知らせ
p.16…紫明祭を終えて
p.18…2005年度課外活動
秋季大会結果
p.20…学問のしおり
p.21…Keiji☆Ban
p.27…2006年度学費について
p.28…谷大エリア散策
p.29…写真でふりかえる大谷大学今昔
p.30…学生相談室から/出版物紹介
p.31…研究室だより/学会だより
p.32…2006年度 自己推薦入試結果
2006年度 公募制推薦入試結果
2006年度 大学院秋季試験
(修士課程) 結果
2006年度 大学院社会人入試
(修士課程) 結果
p.33…大谷中学・大谷高等学校から
のお知らせ
九州大谷短期大学からのお知らせ
p.34…TANIDAI FRONT
p.35…2006年度学年暦
p.36…SQUARE

表紙のことば

ばっちり決めたまえ! 歓喜のポーズ
身体は、ものを食べて大きくなる
そして何かを為し遂げるための
一所懸命な時間
人のころは
そうした時間で大きくなる

冬扇

詳しくは「夏炉冬扇」という。夏の
炉や冬の扇のように役にたたぬことの
意味に用いる。ここでは役にたつた
ない次元をこえて一筋の道に生きる
精神をあらわす。

2006年1月12日発行
発行 大谷大学企画室
編集 大谷大学広報編集委員会
〒603-8143
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内
電話 (075) 411-8115
FAX (075) 411-8149

ボクがヒゲをのばすわけ

野澤 弘篤



上司の業務命令により。後にも先にも理由はこれだけ。しかしそれも数年前のこと。さすがにもう無効でしょう。ではなぜのばしているのか？

やめるのには理由があるのだ。始めるのには理由がある。好きだから、必要だから。ほくの場合は命令だけだ。

一度自他ともに、あるいは社会的に定着してしまったものをやめるには、それなりの理由を表明しないと収まりはつかなさそうだ。曰く、「遠距離に負けた」、「体に悪いから」、「もうそんなの卒業よ」、云々。単に「や～めた」では済まされない、引くに引けないこの恐ろしき底なし沼。ついには「やめろと言われたから」と他人にまで理由を求めてしまう。



ジッポとハンカチ

例えばスーツ。大学を卒業するとスーツを着る機会が多くなる方も多いだろう。でも冷静に見てみると、上下同じ生地と同じ柄のセットアップ、なんとも奇怪な組み合わせ。ジーパンとジージャン、これは難しい組み合わせ。ジャージだって上だけならいいけど、上下揃いだったら繁華街のアスリートだ。でもスーツなら安心、どこへでも訪問できるし、いつでもお客様をお迎えできる。高級レストランだってへっちゃらだ。というわけで真偽はともかく、これをやめるのには理由がある。それもかなり強力な理由が。

それでは歴史にならってみよう。紋付袴と袴、あるいは背広と半ズボンハイソックス、どちらが公的場面で着用されてたか。それぞれ後者に違いないが、今それをしたら時代劇の撮影かコスプレにしかならなさそう。これはボツだ。

「普遍的な衣服も、いくつかの主要な有効圏の最終機能群と同じ資格で同じライン上に並ぶと一つの機能項にすぎない」(ロラン・バルト、『モードの体系』、みすず書房、1972、p.291)

..... ???..... これもだめだ(引用としてもだめ。卒論でこれをすると悲しげな表情をした先生に肩をぽんと叩いてもらえます)。

やはり理由を外に求めるのは間違い。何をするのもほくの中の好み次



Q.1 今日のファッションポイントは？

A.1 タータンチェックのネクタイ

Q.2 よく行くお店はどこ？

A.2 山根洋服店、学生食堂

Q.3 最近気になることは？

A.3 男性のベルトの位置

Q.4 今日のカバンの中身は？

A.4 持ち歩かないので、ポケットには財布、携帯電話、タバコ、頂いたジッポ、ハンカチ

第。好きな色、好きな形、好きな人からもらったもの、言い分はどうあれ、好きを超える理由なんかないんだから。オレに近づくな！オレを見てくれ！かわいいでしょ！なんだっていい。「好き」があればなんだってできるんだから。

で、ヒゲ。どうしよう。

(のざわ ひろあつ)
(教育研究支援部 職員)

創・匠・商

原田 歩

「いらっしゃいませ、何かお探ですか？」今、私は大好きな服たちに囲まれる「BAMBOO」(寺町通六角西入ル)というショップでアルバイトをしている。小さな頃から、おしゃれをすることが大好きで、新しい服を買うときは、ワクワクしていた。この時期、働いているショップは秋冬の新作コレクションが並び、社員割

引があることも手伝って財布の紐は、つついゆるんでしまう。でも、季節ごとに自分のショップが発表するコレクションを見ると、やっぱり胸が躍る。シーズンに先駆けてデザイナーが創る作品たちをいち早く見ることができ、手に入れられる。大好きなアパレル業界で将来、仕事してみたいと思う私にとって、ショップ



は勉強の場であり趣味の場でもある。今季、ショップで最も売れ筋のアイ

テムは紫色や緑色のベストだ。そして、私が注目している色は、紫色と茶色で、かわいい、かつ女性らしい着こなしには、もってこいの色だと思う。服はトータル的な色のバランスがすごく重要で、どこかに「抜け」た感じをもってくると自然な感じになると思う。今日アウターとして着ているアイテム「プードルファー」にも、ゴージャスながらカジュアルさを大切にしてみたかったので、コサージュをつけ黒地に白色をたしてみた。

ショップで働いているとお客様から「このスカートって何と組み合わせ



オシャレ大好き！

せるのが一番いいんですか？」などなどお問い合わせを受ける。私の着ていた服と同じものを買ってくれたり、私が全身トータルコーディネートしたスタイルを気に入ってくれ、上から下まで服を買ってもらえた時はやはり嬉しい。その人に似合い、その人の「こういうのが着てみたい」と求めていたファッションに反応できたことにやりがいを感じる。同時に自分がかわいいと思ったファッションを認めてもらえたような気がして嬉しくなる。ファッションには、服の創(デザイナー)、匠(繊維業界)そして商(ショップ)の要素がある。どの要素も大切だ。これらが三位一体となって新しいファッションが発信されている。私もいつの日かアパレルのプロとなれるよう、自分のファッションを楽しみたい。

(はらだ あゆみ)
(史学科 第2学年)



- Q.1 今日のファッションポイントは？
A.1 パンツ (正面からはスカート、後ろからは、パンツに見える)
- Q.2 よく行くお店はどこ？
A.2 who's who
- Q.3 よく読むファッション雑誌は何？
A.3 『PS』、『spring』
- Q.4 今日のカバンの中身は？
A.4 財布、携帯電話、ショップで着るベスト、化粧ポーチ、勉強道具、手帳、鏡

ファッション事始め

松永 克人



- Q.1 今日のファッションポイントは？
A.1 和柄のベルト、友達のみかんの店で買ったスパッツ
- Q.2 よく行くお店はどこ？
A.2 spinns、EDEN
- Q.3 よく読むファッション雑誌は何？
A.3 『smart』、『カジカジ』
- Q.4 今日のカバンの中身は？
A.4 ヘアワックス、インスタントカメラ、財布、携帯電話、授業の道具、チョコレート(森永ダース所有率、高し！)



和柄のベルト

ファッションに興味を持ち始めたのは、大学に入ってからだ。今ではファッションについて話ができる友人も増え、嬉しい。フリーマーケットで買ったパンツを短く切ったり、何かしら手を加えることで、ショップで見つけたレアなものに自分の大切なコレクションになったりする。親からの仕送りやアルバイトでやりくりする「お金はなくても時間はある」学生の僕は、高価なものを清水買い(清水の舞台から飛び降りるような買い物)することもあるけれど、自分が愛してやれる服を見つける、ショップで値段以上のものを発見する、それらも楽しみなのだ。余談だが、少年マガジンに連載中の「ファッションリーダー 今井正太郎」(作者：西山佑太)の主人公のオシャレへの悪戦苦闘がおもしろい。ファッションを取り上げたマンガで笑えるし、ぜひ読んで欲しい。

また「それ、どこで買ったの？」そう尋ねたり、尋ねられたりしなが



ら、変な格好をしたり、いつも明るくふるまっていると友達が増えると思う。話の糸口にも、ファッション

は一役買っている。いつものベーシックなコーディネートが物足りなく感じたら、マフラーやベルト、バック、腕時計など小物を加えたりする。ファッションもそうだが、日々の生活もちょっとした遊び心で新しい発見があるような気がする。少しずつだけど、自分のワードローブ(意味：個人の持ち衣装 『大辞泉』より)も

増えてきた。朝、着ていく服を選ぶ。ちょっと冒険的な服を選んだ日は、スリリングな緊張感もあるせいか、姿勢良く胸を張って歩いている気持ちがある。「今日の自分は好きなものを着ている」という意識が気分を高揚させ、景色や空気の色さえ明るく見える。

いつか歳をとり、おっさんと呼ば

れる年齢になっても、自分の娘や息子に「お父さん、かっこいい！」と言ってもらえるような服装の親父になりたいと思う。

(まつなが かつひと)
(真宗学科 第2学年)

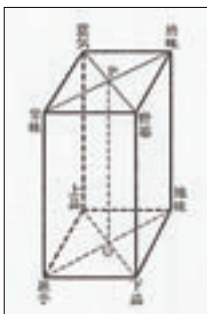
誤訳『「いき」の構造』

山本 貴子



ファッションについて表現することばには、たとえば「かわいい」とか「ジミ」だとか色々ある。普段何気なく使っているそのようなことばについて、それぞれどういう意味かをじっくり考えたことがあるだろうか。

ここで取り上げた『「いき」の構造』(九鬼周造著)は、そんなことばを説明した本である(実はウソ!本当は、日本人の美意識を考察した本である。だが、私にはファッション哲学の本のように思える)。この著者は、「いき」を「垢抜して(諦)、張のある(意気地)、色っぽさ(媚態)」と定義する。そして、直六面体の形を使って「ことばとことばの関係性」でことばの意味を表している(図を参照のこと)。意気・野暮、甘味・渋味、上品・下品、派手・地味と「すべての頂点は、互いに対立関係」を表す(よく考えられているとは思いませんか)。



そして、ここに挙がっていないことばもこの8語で表現されている。たとえば『「きざ」は派手と下品とを結びつける直線上』に位置しているとか、『「雅」は上品と地味と渋味との作る三角形を底面とし、Oを頂点とする四面体』であるとか、これらも何となくわかる気がする。

この本は文章の運びも「いき」である。「うぶな恋も野暮である。不器量な女の厚化粧も野暮である。」なんて、ちょっと書けない表現である。あるいは、『横縞よりも縦縞の方が「いき」であるといえる。およそ、横縞は場面を広く太く見せるから、太った女は横縞の着物を着るに堪えない。それに対して、すらりと細い女には横縞の着物もよく似合うのである。全体の基本において既に「いき」の特徴を持った人間が横縞に背景を提供するとき初めて、横縞が特に「いき」となるのである。』にしたって、「ほっといて!」と思うが、当たっているだけに何も言えない。ただ、この著作の場合、最初に言いたいこと(感情)があり、それに一生懸命理論をくっつけようと無理をした感じがする。哲学書がこんなに非論理的で良いのだろうかとは思っているのであるが、もちろん私がシロウトだからそう感じるだけなのかも知れない。

閑話休題、皆さんは、この図で言うところのあたりがお好みだろうか。私の目標は、「意気」と「上品」と「派手」の三角形の中で「上品」寄りを狙うのだが、はてさて、うまくいっているかどうか。



- Q.1 今日のファッションポイントは?
A.1 ウェスタン・ブーツとサングラス
- Q.2 よく行くお店はどこ?
A.2 Biffi, Angelas
- Q.3 よく読むファッション雑誌は何?
A.3 『Glazia』
- Q.4 最近、気になることは何ですか?
A.4 「高級ブランド=海外製品」のような風潮がかなしい。国産でもいいものはたくさんあります。気に入ったブランドを発掘するのは楽しいですよ。

≪「意気」をめざそうとする学生へ≫

『一般に「いき」は知見を含むもので、したがって「年の功」を前提としている。「いき」の所有者は、「垢のぬけたる苦勞人」でなければならぬ』だそうである。「意気」への道は遠いのである。

*九鬼周造著、「いき」の構造、(岩波文庫 33-146-1)岩波書店、1979年 仮名遣いはすべて原文どおり。また、図は44ページ。

(やまもと たかこ)
(助教授 図書館情報学)

真宗学科第2学年川上源太さん、日本カメラフォトコンテスト銀賞受賞

本学文学部真宗学科第2学年の川上源太さんが、11月に開催されました日本カメラフォトコンテストモノクロプリント部門にて、銀賞を受賞されました。下の「花との対比。」が、1070点の応募作品の中から選ばれ、雑誌「日本カメ



「花との対比。」

ラ」11月号に掲載されました。審査員の金村修氏は「カメラマンの嫌な態度が非常によく出た写真だと思います。さらなるアーバスの追究を目指してもらいたいです」と評され、さらに12月号では「眼鏡な世界」が銅賞の受賞となりました。川上さんは、本学写真部に在籍し、愛用のニコンF100で日々、シャッターチャンスを追っています。川上さんは「現実を可能な限り、そのままに表現する写真家ダイアン・アーバスのと評され、嬉しいです。人物撮影が好きで今回はモノクロ写真での受賞



川上 源太さん

となりましたが、カラー写真にも挑戦していきたいです。ぜひ写真部へ自動現像機の寄贈をお願いします」と話してくれました。今後ますますのご活躍が期待されます。(企画室)

社会学科第4学年幸山聡太さんが得点王、大会優秀選手に！



幸山 聡太さん

2005年度関西学生サッカー連盟秋季リーグⅡ部Aブロックの得点王、また大会優秀選手に本学文学部社会学科第4学年、幸山聡太さんが選ばれました。秋季リーグは9月から11月にかけて行われ、幸山さんは本学サッカー部のFW(フォワード)として出場し、秋

季リーグ中、9ゴールを決めⅡ部Aブロックの得点王に、また大会優秀選手に選ばれました。本学サッカー部は春季リーグ入替え戦でⅢ部からⅡ部に昇格し、秋季リーグにおいて、Ⅱ部Aブロック6位と健闘しています。ストライカーは、ゴールという形で自らのサッカー部への思いを表しました。「僕にとって、チームの仲間が大学4年間の財産です。このチームでの最後のリーグ戦で最高の成績を作りたいと思いました。怪我で練習に出られず、試合にのみ出る時期は辛かったです。秋季リーグではチームワークを追求し、自分のサッカーを表現することがで

き、良かったと思います。サッカー部は部員募集中で未経験者でも大歓迎です。サッカーに興味がある人は、気軽に練習を見に来て下さい」と「FC Mi-o びわこKusatsu」のセレクション(技能試験)1次テストを終えたばかりの幸山さんは話してくれました。

(企画室)



サッカー部一同

第3回京都学生祭典に参加

2005年10月9日(日)、平安神宮にて第3回京都学生祭典が催され、本学2005年度学園祭実行委員14名が本学学園祭(紫明祭)をPRするため参加しました。京都学生祭典は「イベントからまつりへ」というコンセプトのもと、京都学生祭典実行委員会によって主催され、のべ128,000名の人でにぎわいました。当日は好天に恵まれ、学園祭実行委員会のメンバー14名は、ブースを作り、学園祭中に

行われるDEPAPEPEのライブ、池田秀一・古谷徹トークショーのチケット販売や学園祭の宣伝に励みました。また他大学の学生との交流に、代表者でもある学園祭実行委員会委員長の福田了樹さんは「学生のまち、京都を実感できた1日でした。京都学生祭典の警備を見て、学園祭の警備を事前に学ぶことができました。『京炎 そでふれ!』全国おどりコンテストやKSMAという音楽コンテストなど

も開催されているので、もっと本学からも積極的に参加する学生が増えて欲しいと思います」と話してくれました。(企画室)



学園祭PRの一場面

「京都の大学『学び』フォーラム2005」本学にて開催

10月29日(土)、本学を会場に財団法人大学コンソーシアム京都が主催する「京都の大学『学び』フォーラム2005」が開催されました。

このフォーラムは、高校生を対象に「大学で学ぶおもしろさ」を伝え、高校生活における「学習意欲の向上」や「大学入学目的の明



学園祭PR企画

確化」の機会を創出し、高等学校と大学の「学び」をスムーズに接続することを目的に、2005年度は東京・大阪等5会場で開催されました。

当日は、朝からの雨にもかかわらず、京都府、滋賀県下を中心に、2,443名(主催者発表)もの高校生・父母兄弟・高校の先生方が来校し、模擬授業や個別相談等に参加していました。

本学からは、谷口奈青理助教授による模擬授業「臨床心理学ってなに?」を開講し、会場定員をはるかに越える高校生が臨床心理学

にふれてみようかと参加していました。

また、休憩時間には講堂において、本学学園祭実行委員会による学園祭PR企画や京都学生祭典実行委員会による「京炎 そでふれ!」が披露され、イベントを盛り上げました。(企画室)



模擬授業「臨床心理学ってなに?」

学生選書プロジェクト始動!

図書館では、新しい試みとして「学生選書プロジェクト」を開始しました。昨年7月より館内に設置した意見箱『館長直々』には、「もっと今読みたい本を入れてほしい」という声が数多く寄せられています。そこで、学生利用者自らが今必要としている本を提案できる仕組みを作ろうと、本プロジェクトを企画しました。

10月中旬に行った第1期の募集には13名の応募があり、館長面接の結果、8名の学生ボランティアスタッフが決定しました。任期は3月までで、活動方針についての話し合いや図書購入、紹介を行います。紹介図書は貸出可能です(一部禁帯出もあります)。4月からの第2期スタッフ募集は2月中旬頃から行う予定です。学生利用

者の目で選んだ「今読みたい本」、ぜひご利用ください。

(図書・博物館課)



話し合いの様子

母校大谷大学の皆さま、ありがとうございます

谢谢,母校大谷大学!

中国・杭州にある総合大学・浙江財経学院は、2005年1月に日本文化与経済研究所を開設され、日



贈られた資料を手にする王麗萍先生

浙江財経学院に書籍を寄贈

本の文化や社会・経済、日本語学などの研究を開始されました。ところが、研究・学習資料となる日本語の書籍がまだ十分ではないことから、研究所長・王麗萍先生(本学卒業生)が本学に書籍収集の協力を要請されました。

それを受けて、図書館が窓口となり、学内で日本文化与経済研究所への書籍寄贈をお願いしましたところ、約1500冊の書籍を収集す

ることができ、この度、中国へ送付しました。

今回学内教職員・学生の皆さまからご寄贈いただいた書籍や雑誌は、日本文化・歴史・文学・社会・経済など多岐にわたって「現代の日本」を紹介するもので、この本が浙江財経学院と大谷大学、ひいては中国と日本の友好の架け橋になることを願っています。

(図書・博物館課)

「北区こころのキャンパスネットワーク講演会」本学にて開催

去る10月21日(金)、響流館メディアホールにおいて「北区こころのキャンパスネットワーク講演会」が開催されました。これは京都市北保健所が主催したもので、すべての人が安心していきいきと暮らしていける、こころのバリアフリーを目指すまちづくりを行っていくものです。

メディアホールでは滝口直子教授による「一人ぼっちで苦しまないで一生き辛さからの解放は仲間(※自助グループ)の支えあい」をテーマにした講演会が開催されました。講演では薬物依存症

専門のリハビリテーション・センター「京都DARC(きょうとダルク)」の加藤武士さんの実体験をふまえたお話もあり、約100人の受講生が熱心に耳を傾けていました。またギャラリーでは、北区内にある社会復帰施設の紹介展示とバザーが行われました。

※自助グループとは、「同じ問題を抱える仲間が助け合い、問題をのりこえ成長していく仲間の集い」です。当事者が自ら、問題を解決するために活動し、力をつけていくことを目的としており、グループによって対応する症状は異

なります。京都DARC(きょうとダルク)はドラッグ依存からの回復を目的として活動しています。全国にはアルコールやギャンブルなどの依存からの回復を目指す自助グループがあり、活動しています。

(教育研究支援課)



講演の様子

大津市仰木の里子育て支援講座に学生有志が参加

10月30日(日)、大津市仰木の里市民センターにて、「親子プレイステーション事業子育て支援講座」が開催されました。このイベントは、公演を通して「子どもとともに」感動しながら子育てをする心のあり方や子どもとの関わり方を考えていくものです。

今回の子育て支援講座には、湖



オペレッタの様子

西キャンパスのある地域のご縁もあり本学から幼児教育科の有志学生が参加しました。豊住征子教授と、山本真理先生の指導のもと幼児教育科有志学生40名によるゲーム「こんなことできるかな?」、オペレッタ「おむすびころりん」、合唱「うたえバンバン」、手遊び、パネルシアターなどが披露され、約100名の子どもたちと父母兄弟の方々は、学生たちの熱のこもった演技に目を輝かせていました。またフィナーレのダンス「エビカニクス」では、学生にまじって子どもたちも舞台上上がり、一緒に踊る1コマもありました。

親子ともども、オペレッタ、うた、ダンスなどを通じて、音楽が子育てに与える影響を感じてくれたのではないのでしょうか。

最後に子どもたちは、学生が用意したお土産をもらって帰途につきました。

(教育研究支援課)



幼児教育科有志学生、豊住教授、山本先生

留学生文化交流会開催

2005年度第2回留学生文化交流会が12月3日(土)に開催され、外国人留学生・日本人学生あわせて18名が参加しました。

午前中は、臨濟宗相国寺派、瑞寶山 無礙光院(左京区)にて座禅を体験しました。本学出身のご住職より、座禅について「この悩みの多い日常の中において、何も考えないことで頭を休ませてみよう」と易しく解説いただき、目はあけ、腹式呼吸で姿勢をただす

座禅を実際に体験しました。

午後からは古代友禅苑(下京区)を会場に、会席料理に関するマナー講習を受けました。その後、友禅染の歴史・工程のビデオ学習を経て、友禅染体験を行いました。好みの絵柄を選んで、Tシャツに型紙をあてて刷毛で染料をつけるという作業を、型紙の枚数分繰り返し、最後に各自が筆でサインをいれて完成させました。また、館内の友禅染作品を鑑賞し、参加者

同士で親睦を深めながら日本文化の奥深さを知る、良い1日となりました。(学生課)



座禅体験の様子

国文学会公開講演会開催

毎年10月初旬に国文学会公開講演会を開催していますが、今年は10月8日(土)、午後3時30分より尋源講堂で開催しました。講演の前に先師法要のお勤めをいたしました。導師はOBの瀬辺勸氏にお願いしました。

今回の講演は本学村上學教授に「長明のテキストを読むということ」という講題で『方丈記』をど

う読むかについて、研究史を回顧しつつ、詳細な資料を使って懇切にお話しいただきました。教員・学生・卒業生などが数多く参集し、熱心に聴講し、充実した講演会となりました。その後、村上學教授を囲んで懇親の会を平安会館で行ない、なごやかなひと時を過ごすことができました。

(石橋 義秀)



村上 學先生の講演

文藝学会機関紙「文藝論叢」第15回蘆北賞受賞

本学国文学・中国文学両学会は合同して大谷大学文藝学会を設立し、三十数年間研究活動を継続してきましたが、この度、財団法人橋本循記念会より「中国文学に関する学術研究」に対する助成対象として、本会の機関誌「大谷大学文藝論叢」が第15回「蘆北賞」として表彰されることになり、去る11月17日(木)午後5時よりの式典で、授与されました。因みに、本財団は中国文学研究の碩学であった立命館大学名誉教授橋本循博士の遺徳を偲び、その遺志を継承し

て中国を中心として東アジアの学術文化の発展に寄与したいとの博士ご令室の申し出による寄附を基金として1989年12月に設立されました。爾来中国文学研究の振興発展に寄与すべく、論文・学術誌・著書部門の優れた研究成果に対し、研究助成を行ってきましたが、本年度の「学術誌」部門において本学の機関誌「文藝論叢」が選考委員会により選定され、橋本博士の雅号を被せた「蘆北賞」受賞の榮譽に浴したのであります。顧れば1973年9月初刊号より本年9月

の第65号最新号に至る不断の研鑽の結実として、この度の受賞を、ご苦勞頂いた先学諸氏と慶ぶと共に、更なる発展に向けて進一歩せよとの激励として受け止めることです。

(若槻 俊秀)



授与式記念写真

『仏教文化史叢—第二号—』刊行

大学院の仏教文化専攻（日本史分野）では、院生の有志が集い「大谷大学日本仏教文化研究会」と銘打った自主勉強会を週1回のペースで開催しています。この場では夏期集中講義の事前勉強会や、1つのテーマを決めての輪読会や史料講読、さらに個人の研究発表などを行っています。

研究会がこうしたスタイルになってから、もう10年近くになりますが、年々、参加者の幅も広がり、最近では院生だけでなく学部生も参加しています。同じ専攻でも、ひとりひとりの関心や研究テーマはそれぞれ異なります。ともすれば個人の枠にこもりがちですが、こうした場があることで、そこに留

まらず幅広い視野をひとりひとりが持つことができるように思います。

昨年には、研究会の成果をもとに「論集」を作ろうとの声が挙がり『仏教文化史叢—新生—』と題する論集を発刊、それに続いて今年も『仏教文化史叢—第二号—』を刊行しました。所収されている論文は、各人の問題関心に基くものですが、執筆にあたっては、事前に構想の発表会を開催し、議論を行った上で推敲を重ねたものです。さらに編集や印刷作業も有志から編集担当者を募って行うなど、まさに手作りの論集です。

正式な研究誌とは違うため、残念ながら公開することはできませ

んが、こうした論集の刊行を機にひとりひとりの研究が進展し、更には立場や世代を超えた自由な交流・研鑽の学風づくりにつないでいくことができると願っています。

（日本仏教文化研究会）



『仏教文化史叢—第二号—』

冬季企画展「荘厳—京の町衆、仏をかざる—」開催

博物館では、11月11日(金)から12月24日(土)まで冬季企画展「荘厳—京の町衆、仏をかざる—」を開催



展示された「打敷」

しました。この展覧会では、浄土真宗における荘厳、特に京の町衆・神田家に伝えられた打敷に注目しました。神田家は江戸時代から続く家柄で、両替商として繁栄し、近世京都の発展に寄与してきました。一方、篤信の真宗門徒でもあり、報恩講や年忌法要には様々な文様の打敷が制作されました。今から200年ほど前に作られ

た打敷ですが、非常に状態がよく、来館された方々は興味深く観覧しておられました。

また年記のある『歎異抄』としては最も古い端坊本『歎異抄』の修復を記念して、特別に陳列しました。この端坊本『歎異抄』はHPでも公開しています。

<http://www.otani.ac.jp/tannisyu/index.html>

（図書・博物館課）

第2回全国高校生「人間が大好きです！」表現コンテスト表彰式開催

11月12日(土)、響流館メディアホールにて第2回全国高校生「人間が大好きです！」表現コンテスト表彰式が行われました。今年度はKBS京都との共同主催、文化庁・京都府教育委員会・京都市教育委員会・社団法人日本民間放送連盟・京都新聞社の後援により、当コンテストを開催しました。募集部門は映像作品部門とホームページ作品部門の2部門。関東から沖縄までの広い範囲から68作品と昨年の2.5倍の作品が寄せられまし

た。作品のひとつひとつを審査委員長の佐々木令信教授ほか4名の審査員が部門ごとに厳正に審査を行い、本年度のグランプリには映像部門では中西正治さん(兵庫県)・ホームページ部門は兵庫県立東播磨高等学校放送部の皆さんが選ばれました。表彰式では審査員の松川節助教授、俳優の西村和彦さん両氏から、それぞれご専門の視点による部門講評が行われ、その熱いメッセージは高校生の皆さんにたいへん好評でした。コン

テストの審査結果はインターネットでご覧いただけます。

（コンテスト専用サイト）
<http://www.kbs-kyoto.co.jp/ningendaisuki/>
（企画室）



中西正治さんにグランプリ授与の様子

第10回大谷大学同窓会ホームカミングデー開催

同窓会恒例の「大谷大学同窓会ホームカミングデー」が、第105回紫明祭期間中の11月12日(土)に開催されました。10回目を数える今回は、名誉教授の先生方をはじめ、退職された先生や専任教員のご出席のもと、全国より同窓生やそのご家族など約160名の参加がありました。

第Ⅰ部「谷大で会おう」では、博綜館第1会議室をメイン会場に、参加者が久しぶりに再会した恩師や旧友となごやかに懇談されたほか、博綜館屋上において比叡山を背景に記念撮影をしました。

また、当日は「学園祭バザー利用券」が配付され、参加者は様変わりした母校のキャンパスを散策する際、バザーに参加しながら、在学生との交流も図られました。第Ⅰ部の後半には、世代や地域を越えた同窓生同士の新たな出会いを期待して「出会でビンゴ」が行われ、当選された参加者に全国の同窓会各支部よりご提供いただいた特産品などが贈られました。

さらに、バザーを利用した参加者の投票により、写真部がバザー優秀団体として選ばれ、翌日の後夜祭において同窓会より表彰され

ました。

その後、京都ロイヤルホテル&スパに会場を移し、第Ⅱ部「懇親会」が開催され、和やかな雰囲気の中、盛会裡に終了いたしました。(校友センター)



第Ⅰ部 谷大で会おう

宗教シンポジウム開催

「“生きる”ことー臨床の知からー」を総合テーマにして24回目



ディスカッションの様子

の宗教シンポジウムが、第105回紫明祭最終日の11月13日(日)、13時30分よりメディアホールで開催されました。

第Ⅰ部では臨床哲学が専門の驚田清一大阪大学教授から「分からないことの大切さ」、臨床教育学が専門の皇紀夫本学教授からは「新しさとしての日常」と題した

基調講演が行われました。

第Ⅱ部では基調講演に基づき、本学教職員、学生、一般来聴者などホール満席の来聴者と熱心なディスカッションが行われ、医療や教育の現場の「知」から本当に「生きること」とは何かを考えることができ、大変有意義なシンポジウムとなりました。(学生課)

大学報恩講厳修

11月26日(土)、午前10時より講堂において、学外、学内から多数参集のもと、大学報恩講並びに歴代講師謝徳法要が挙行されました。

宗祖親鸞聖人の絵像と歴代講師の肖像画が掲げられた講堂で、学



出仕した学生代表

長の調声により『正信偈』を全員で唱和して報恩講を厳修した後、引き続き歴代講師謝徳法要に移り、『阿弥陀経』の読経のなか、来賓、教職員、学生がそれぞれ焼香を行いました。

また、本年からは新しい試みとして、学長の導師のもと、助音の職員に加え、学生の代表6名が出仕する形式を採り、全学挙げての法要となりました。

法要終了後は、片岡了名誉教授より「親鸞聖人の文体」と題する記念講演が行われました。親鸞聖

人の著作に見られる比喩的表現について、具体的な例をあげながらその特色について詳細に解説をしていただきました。その後、食堂に会場を移して小豆粥のお齋を全員でいただきました。(総務課)



片岡了名誉教授

就職活動報告会開催

11月30日(水)、午後4時30分から2時間、博綜館5階の第1・第2会議室において「就職活動報告会」を開催いたしました。この報告会は、就職を希望している文学部第3学年と短期大学部第1学年の学生に、内定を得た先輩の経験談を



就職活動報告会の様子

聞いて、これからの就職活動に役立ててもらうことを目的に毎年開催しています。今年も、就職活動報告会の企画運営に携わった学生スタッフが提案した「就職活動プロセスコーナー」や「なんでも相談コーナー」「マナー全般質問コーナー」「就職活動グッズコーナー」を設置し、62名の就職内定者に参加いただきました。熱気に包まれた会場内では、約200名の就職希望学生が先輩の親身なアドバイスに、熱心に耳を傾け質問をしていました。寄せられたアンケートによると、身近な存在である先

輩からのアドバイスに勇気づけられた学生が多くおりました。

進路就職センターは、これからも学生のキャリア形成をサポートしていきます。

(進路就職センター)



就職活動グッズコーナー

人権をめぐる2つの学習会を開催

教職員を対象とする人権問題学習会が、10月26日(水)、午後4時10分よりメディアホールにて開催されました。今年度は、4つある「人権教育推進委員会」の中から、第1部会(部落差別問題)と第2部会(民族差別問題)から報告がありました。

第1部会からは「本学の『大谷大学における人権問題学習の課題』について」と題して、大谷大学が部落問題に対する態度を表明している文書であり、人間学Iのテキストにもなっている『大谷大学における人権問題学習の課題』をとり上げ、その内容をについての様々な視点から検討していただきました。

第2部会からは「アイヌ・琉球・戦争」と題して、戦争が民族差別意識をいかに助長したかについて、アイヌ民族と沖縄民族を例に指摘していただきました。各発

表に対して、73名の参加者から、時間が足らなくなるほど活発な質疑が出されました。

2005年度第2回"人権問題を共に考えよう"全学学習会の講演会が、12月7日(水)、午後4時10分より本学講堂にて開催されました。本年度は、被爆体験をもつ米澤鐵志さんを講師にお招きし『「核」と人類は共存できない 一被爆者の思い』と題して講演していただきました。米澤さんは、小学校5年生の時に広島で被爆され、奇跡的に死を免れたことや、避難する途中で見た凄惨な光景について、言葉静かにお話し下さいました。しかし「戦争」「核」を決して許さない強い力のこもった声は、私たちが「戦争」「核」にいかに対していすべきか考えさせられるものでした。122名の参加者からは様々な質問や意見が述べられ、今後さらに学習を深めていく必要が



米澤鐵志氏の講演

あることを確認しました。

また、併せて、『原爆と峠三吉の詩』パネル展が、12月2日(金)から9日(金)まで、響流館ギャラリーで開催されました。

(人権センター)

幼教フェスティバル開催

幼児教育科のフェスティバルが、12月18日(日)に講堂において開催されました。今年度は「パズル～かけてはならないもの～」というテーマで行い、ジグソーパズルが1つでも欠けると全体が成り立たないように、1人でも欠けたら幼児教育科ではないという思いの中で、全員が協力しあいました。

午前の部は11時から12時まで、大谷幼稚園をはじめ、ご案内した

幼稚園・保育園の園児たちを対象にして、体操やダンスなどを披露しました。

午後の部は1時30分から5時30分まで、ラインダンスに始まり、学生の創意工夫によるダンスを織り交ぜた劇など、多様な発表会となりました。第2学年が中心のフェスティバルですが、第1学年も参加し、共に作り上げることができた有意義な発表会でした。



演目の1コマ
(幼児教育科)

人事

退職

退職・依願退職

[事務系嘱託]

俣野 知子 (教育研究支援部)

2005年12月31日付

アスベスト調査について

アスベストによる健康被害の問題が、社会的に関心を集めています。本学の施設全てに於いて、飛散の恐れのあるアスベストが含まれると思われる建築材料の使用状況を、図面確認・現場確認により点検したところ、通常人の立入がない右記6箇所での使用が確認さ

れました。

- ① 1号館・・・1箇所 (屋根裏)
- ② 2号館・・・2箇所 (機械室)
- ③ 博綜館・・・1箇所 (天井裏)
- ④ 講堂棟・・・2箇所 (天井裏)

これをうけてアスベスト調査を文部科学省推薦検査機関である株式会社ジーエス環境科学研究所に

依頼しましたが、調査の結果、いずれの箇所に於いてもアスベストの含有は【無し】との最終報告を受けました。よって学内施設に飛散の恐れのあるアスベストは存在しないことが判明しましたのでお知らせします。

(総務課)

お詫び

前号の『大谷大学広報05冬号』の中で誤りがありましたので、次のとおり訂正いたします。

P.36 話題の広場 SQUARE


「ヤバイ料理を立ち上げる」 藤本芳則著

(誤) (ふじもと よしのり 助教授 日本児童文学)

(正) (ふじもと よしのり 教授 日本児童文学)

「学生向け情報提供システム」を利用してみよう！

◆サービス内容◆

	提供サービス	使用方法
パソコン版	<ul style="list-style-type: none"> 各種の情報提供 授業情報 時間別教室状況 個人掲示板 就職支援 	大谷大学・大谷大学短期大学部ホームページ (http://www.otani.ac.jp/) から「学生向け情報提供システム」にログインしてください。 (システムについてわからない時は、ログイン画面の【ブラウザの設定について】【よくある質問】を参照してください。)
携帯電話版	<ul style="list-style-type: none"> 休講情報 個人別時間割 個人掲示板 	携帯電話の「インターネット接続」より下記URLを入力するか、右のQRコードを利用し、ログインして下さい。 (https://www.l.otani.ac.jp/m/) 
<注意>携帯電話が「SSL対応機種」である必要があります。また、通信料については個人負担となります。携帯電話版「学生向け情報提供システム」は、パソコン版の情報を一部表示するものです。掲載内容については、必ずパソコン版で確認するようお願いいたします。		

◆利用者の声◆

かわさき やすなが 川崎 靖長さん (第3学年 人文情報学科)



【一般掲示】をはじめ毎日このシステムを利用しています。台風の際に授業が休講になるのかあるのか、あればいつから授業が行われるのかをこのシステムで確認できたことが嬉しかったですね。この他定期試験前後には、総合研究室の開室予定をはじめ、試験に対して活用できる情報を利用でき、すごく助かっています！

【携帯電話版】を利用する際、QRコード入力ですぐに登録できたのも良かったです。

今後は【就職支援】を活用してみたいと思います！



みなぎ まこと 南木 信さん (第2学年 真宗学科)



「簡単に使えるんだなあ！」初めてこのシステムを利用した時にそう感じました。そして、このシステムは、学内の研究室はもちろん、自宅のパソコンからでも閲覧することができるので遠くから通学する学生に特に便利だと思います。

【一般掲示】では一覧表で情報が確認でき、一目でわかるのが嬉しいです。デザインもシンプルで見やすいので気に入っています！



あらた のぞみ 荒田 望さん (第4学年 社会学科)

進路就職センターや総合研究室、自宅でも<パソコン版>を利用していますが、<携帯電話版>も移動の際によく活用しています。【休講情報】では、パッと見て自分の登録授業の休講情報がわかるのがいいですね！【就職支援】では求人票をPDFで見ることができるのですが、その求人票は大谷大学の学生に募集がきていることもあって、安心感をもってこのサービスを活用できました。



多くの情報の中から自分に適した情報を選んでこそ、情報は生きてくると思います！このサービスをまだ利用していない方がいれば、是非【休講情報】と【就職支援】を利用してみてください！オススメです♪



◆トピックス◆

「学生向け情報提供システム」にて定期試験情報・卒業(修了)判定・進級判定・卒業論文提出資格及び諸資格の合格予定者を掲載します。また、個人掲示板にも年度末・始めには様々な情報が提供されますので、確認してください。

紫明祭を終えて

学園祭実行委員会

委員長 福田 了樹



第105回紫明祭を終え、我々学園祭実行委員会幹部もやっと普段の学生生活に戻りつつあります。学祭ボケと言いましょうか、気が抜けて授業を休む者や、レポートに追われる者、中にはまだ仕事に精を出している者もいます。私もその中の1人ですが、第105回学園祭実行委員会の解散と共に仕事に追われる生活が終わることに少し喪失感を感じております。

本年度の紫明祭を振り返ってみると、初めから不安の連続でした。紫明祭が行われるのは11月ですが、実行委員会の結成は4月です。主要なメンバーは2月には集まり、そこからやりたい人を集めてそれぞれの役職へ振り分けていきます。今年は去年の紫明祭を経験した者が4人しかおらず、仕事内容もそれほど理解できていなかったため、みんなで支え合いながらのスタートでした。なかなか人数が揃わず勧誘をしたり、引継ぎをみんなで受けたり、仕事を分け合ったり。知らないということがみ

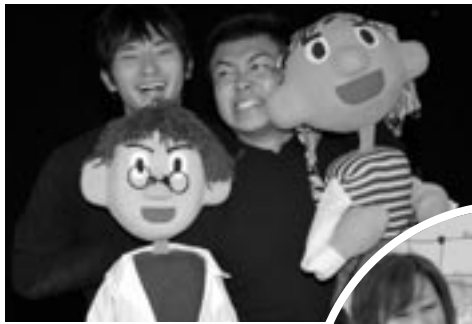
んなに責任感を与え、全員で力を合わせてやってきました。しかし、たくさんの個性が集まり形を成していく学園祭、中には反発や苛立ち、苦悩と様々な問題も起こりました。私も先輩方からよく「優しいだけじゃだめ」とか「怒りなよ」などアドバイスを受けました。学園祭の実行委員長として甘いと思われるかもしれませんが、私は怒るということが苦手です。怒るということは自分もそうですが相手にも不快な思いをさせてしまいます。間違ったことに対してきちんと指摘はしますが、できるだけ笑顔でみんなと仕事をしたいという気持ちの方が強かったため、あまり怒らないようにしていました。そのため周りの幹部には迷惑を掛けましたが、その分みんなよくまとまってくれたと思います。

私は委員長を受け継ぐと同時に2つの言葉を継承しました。1つは第103回実行委員長、要田憲人さんの『闘魂』という言葉。もう1つは第104回実行委員長、伊藤

大信さんの『良心』という言葉です。それぞれ学園祭を形成する力強さ、他を利する思いやりの心という意味が込められています。私は自分なりにこれらの言葉をみんなに訴えかけてきたつもりです。そして、私も第105回紫明祭を終え、第105回実行委員長として言葉を贈ります。それは『優しさ』という言葉です。時には怒ることも必要ですが、その後全てを受け入れる『優しさ』がなければ上手くいくものも上手くいきません。全てを統括することは難しいことです。しかし怒るだけではなく笑顔で接することで解決する道があると思います。

学園祭というものは1人の力ではできないものではありません。学園祭に関わる全ての方々の気持ちが集うことによって、学園祭という1つの大きな花が咲き誇ります。今年も無事大きな花が咲き誇ったように思います。『継がれし風』は今年で終わることなく、これからも流れ続けます。そして『風』に込められた想いもまた絶えることなく皆さんの心の中で生き続けると思います。最後になりましたが、第105回紫明祭に多大なる御支援と御協力をいただきました皆様に、スタッフを代表して心より御礼申し上げます。





2005年度 秋季大会結果 —団体成績—

クラブ名	日 程	対 戦 校	結 果	会 場
サッカー部 関西学生サッカー連盟秋季リーグ II部Aブロック6位	9月4日(日)	関西外国語大学	● 2 - 5	大谷大学湖西キャンパス
	9月11日(日)	大阪市立大学	● 2 - 8	大阪市立大学
	9月25日(日)	神戸学院大学	○ 8 - 2	姫路獨協大学
	10月2日(日)	大阪産業大学	● 0 - 5	近畿大学
	10月16日(日)	摂南大学	○ 6 - 2	大谷大学湖西キャンパス
	10月23日(日)	甲南大学	○ 2 - 1	〃
	11月13日(日)	流通科学大学	● 2 - 4	大阪経済大学
	11月20日(日)	大阪経済大学	● 2 - 5	〃
	11月26日(土)	天理大学	○ 4 - 0	大谷大学湖西キャンパス
硬式野球部 京滋大学野球連盟秋季リーグ戦 I部3位	9月3日(土)	滋賀大学	● 3 - 4	太陽が丘球場
	9月4日(日)	〃	○ 9 - 0	佛教大学園部グラウンド
	9月10日(土)	花園大学	○ 7 - 0	太陽が丘球場
	9月11日(日)	〃	○ 11 - 8	〃
	9月17日(土)	京都学園大学	● 0 - 7	西京極球場
	9月18日(日)	〃	● 3 - 10	〃
	9月28日(水)	滋賀大学	○ 2 - 1	佛教大学園部グラウンド
	10月6日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	○ 11 - 4	草津グリーンスタジアム
	10月7日(金)	〃	● 9 - 17	〃
	10月12日(水)	〃	● 5 - 8	佛教大学園部グラウンド
	10月22日(土)	佛教大学	● 4 - 6	西京極球場
	10月23日(日)	〃	○ 11 - 7	佛教大学園部グラウンド
	10月24日(月)	〃	● 0 - 5	太陽が丘球場
剣道部(男子) 関西学生剣道優勝大会 2回戦敗退	9月19日(月)	京都府立医科大学	○ 6 - 0	大阪府中央体育館
		滋賀大学	● 1 - 5	〃
ソフトテニス部(男子) 関西学生ソフトテニス連盟秋季リーグ戦 V部Bクラス4位 Cクラス降格	9月25日(日)	京都産業大学	● 0 - 5	大谷大学湖西キャンパス
		大阪電気通信大学	● 1 - 4	〃
		摂南大学	● 1 - 4	〃
ソフトテニス部(女子) 関西学生ソフトテニス連盟秋季リーグ戦 V部Dクラス3位	10月9日(日)	奈良教育大学	● 0 - 3	奈良教育大学
		兵庫県立大学東学舎	● 1 - 2	〃
		大阪電気通信大学	○ 2 - 1	〃
バスケットボール部(男子) 関西学生バスケットボール連盟 秋季リーグ戦 III部Bリーグ8位	9月3日(土)	神戸市外国語大学	○ 94 - 58	京都府立体育館
	9月4日(日)	大阪外国語大学	○ 87 - 76	〃
	9月10日(土)	桃山学院大学	● 82 - 85	京都精華大学
	9月11日(日)	奈良大学	○ 97 - 66	〃
	9月17日(土)	近畿福祉大学	● 80 - 106	〃
	9月18日(日)	京都学園大学	● 99 - 114	〃
	9月19日(月)	滋賀大学	● 66 - 104	〃
	9月25日(日)	京都精華大学	● 76 - 87	神戸学院大学
	10月1日(土)	四天王寺国際仏教大学	● 73 - 80	京都精華大学
	10月2日(日)	神戸学院大学	● 65 - 105	〃
	10月8日(土)	大阪市立大学	● 63 - 88	〃
	10月9日(日)	京都学園大学	○ 90 - 71	〃
	10月15日(土)	神戸市外国語大学	○ 82 - 76	〃
	10月16日(日)	大阪外国語大学	● 78 - 82	〃
	10月22日(土)	奈良大学	○ 86 - 78	〃
10月23日(日)	四天王寺国際仏教大学	● 75 - 78	大谷大学本部キャンパス	
バスケットボール部(女子) 関西女子学生バスケットボール連盟 秋季リーグ戦 III部	8月8日(月)	大阪芸術大学	● 56 - 64	大阪大学
	8月9日(火)	兵庫教育大学	○ 84 - 35	〃
	8月13日(土)	神戸女子大学	● 56 - 58	京都府立大学
	8月14日(日)	滋賀女子大学	○ 68 - 54	神戸親和女子大学
	8月17日(水)	神戸大学	● 60 - 72	京都精華大学
	8月20日(土)	四天王寺国際仏教大学	● 51 - 59	大谷大学本部キャンパス
	8月21日(日)	京都女子大学	○ 67 - 42	〃
バスケットボール部(女子) 関西女子学生バスケットボール連盟 秋季トーナメント大会 2回戦敗退	10月30日(日)	兵庫教育大学	○ 93 - 30	神戸女子大学
	11月3日(木)	奈良教育大学	● 69 - 72	桃山学院大学
バレーボール部(男子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦IV部7位	9月18日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	● 1 - 3	大谷大学本部キャンパス
	9月25日(日)	近畿福祉大学	● 0 - 3	〃
	10月2日(日)	京都教育大学	○ 3 - 0	大阪工業大学
	10月9日(日)	神戸学院大学	● 0 - 3	びわこ成蹊スポーツ大学
	10月16日(日)	大阪工業大学	● 0 - 3	神戸学院大学
	10月23日(日)	姫路獨協大学	● 1 - 3	びわこ成蹊スポーツ大学
	10月30日(日)	関西外国語大学	● 1 - 3	びわこ成蹊スポーツ大学
IV部-V部入替戦 V部降格	11月6日(日)	兵庫県立大学神戸学園都市校舎	● 2 - 3	近畿大学

クラブ名	日 程	対 戦 校	結 果	会 場
バレーボール部 (女子) 関西学生バレーボール連盟 秋季リーグ戦 VI部4位	9月18日 (日)	大阪外国語大学	● 0 - 3	関西福祉大学
	9月25日 (日)	関西福祉大学	○ 3 - 1	〃
	10月2日 (日)	京都光華女子大学	● 2 - 3	京都府立大学
	10月9日 (日)	同志社女子大学	● 0 - 3	大谷大学本部キャンパス
	10月16日 (日)	帝塚山大学	○ 3 - 0	〃
	10月23日 (日)	大阪学院大学	○ 3 - 0	京都精華大学
	10月30日 (日)	京都府立大学	○ 3 - 2	大谷大学本部キャンパス
バドミントン部 (男子) 関西学生バドミントン連盟 秋季リーグ戦VI部Aブロック3位	10月1日 (土)	大阪国際大学	○ 5 - 0	大谷大学本部キャンパス
	10月2日 (日)	京都教育大学	○ 3 - 2	〃
		四天王寺国際仏教大学	○ 4 - 1	〃
	10月16日 (日)	追手門学院大学 和歌山大学	● 2 - 3 ● 1 - 4	追手門学院大学 〃
バドミントン部 (女子) 関西学生バドミントン連盟 秋季リーグ戦IV部Aブロック1位	10月2日 (日)	和歌山大学	○ 4 - 1	大谷大学本部キャンパス
		大阪教育大学	○ 4 - 1	〃
	10月8日 (土)	滋賀大学教育学部	○ 3 - 2	〃
	10月15日 (土)	関西福祉科学大学	○ 4 - 1	〃
	10月16日 (日)	大阪産業大学	○ 4 - 1	大阪産業大学
IV部-III部入替戦 III部昇格	10月25日 (火)	京都教育大学	○ 3 - 0	東淀川体育館
	10月26日 (水)	大阪産業大学	○ 3 - 2	〃
	10月27日 (木)	追手門学院大学	○ 3 - 0	〃
卓球部 (男子) 関西学生卓球連盟秋季リーグ戦 III部Bリーグ6位	9月3日 (土)	甲南大学	● 1 - 3	伏見港公園総合記念体育館
		関西学院大学	● 1 - 3	〃
		天理大学	● 1 - 3	〃
		滋賀大学	● 1 - 3	〃
	9月8日 (木)	大阪産業大学	● 2 - 3	尼崎市記念公園総合体育館
	9月9日 (金)	大阪府立大学	● 0 - 3	〃
III-IV部入替戦 IV部降格	9月17日 (土)	京都教育大学	● 2 - 3	東大阪アリーナ
卓球部 (女子) 関西学生卓球連盟秋季リーグ戦 III部Aリーグ2位	9月3日 (土)	神戸大学	○ 3 - 1	伏見港公園総合記念体育館
		大阪教育大学	○ 3 - 0	〃
		京都府立大学	○ 3 - 1	〃
	9月8日 (木)	天理大学 大阪体育大学	○ 3 - 1 ● 1 - 3	尼崎市記念公園総合体育館 〃
ラクロス部 関西学生ラクロスリーグ戦 III部Aブロック4位	8月30日 (火)	佛教大学	● 5 - 9	京都工芸繊維大学
	10月1日 (土)	大阪経済大学	● 5 - 7	浜寺公園第1球技広場
	10月30日 (日)	甲南大学	● 5 - 20	万博記念公園運動場
アメリカンフットボール同好会 関西学生アメリカンフットボール連盟 秋季リーグ戦III部Cブロック6位	8月27日 (土)	京都外国語大学	● 0 - 31	王子スタジアム
	9月19日 (月)	京都府立大学	● 7 - 39	〃
	10月1日 (土)	京都工芸繊維大学	● 0 - 40	万博スポーツ広場
	10月9日 (日)	帝塚山大学	● 6 - 13	〃
	10月23日 (日)	京都学園大学	● 0 - 43	京都工芸繊維大学グラウンド

2005年度 秋季大会結果 一人成績

●硬式野球部

<京滋大学野球連盟I部秋季リーグ戦>
於 太陽が丘球場他 (9月3日~10月24日)

【ベストナイン】

外野手 馬場 啓太
(文学部 人文情報学科 第2学年)
指名打者 川戸 雅俊
(文学部 仏教学科 第2学年)

【打撃ベストテン】

第9位 川口 潤
(文学部 仏教学科 第3学年)
第10位 馬場 啓太
(文学部 人文情報学科 第2学年)

●スキー競技部

<第14回全日本選抜ローラースキーあわくら大会>
於 岡山県西栗倉村 (8月27日~28日)

【成年女子】

優 勝 内畑 加容子
(文学部 史学科 第3学年)

●空手道部

<第21回 綴喜空手競技大会>
於 宇治田原町住民体育館 (10月30日)

【形 高校生・一般の部】

第3位 岡崎 里紗
(文学部 史学科 第3学年)

【組手 高校生・一般(男子)の部】

準優勝 中野 悠介
(文学部 社会学科 第2学年)

【組手 一般(女子)の部】

優 勝 岡崎 里紗
(文学部 史学科 第3学年)
準優勝 松尾 弥生
(文学部 文学科 第2学年)

●バドミントン部

<京都学生バドミントン選手権大会>
於 京都産業大学他 (10月30日~11月6日)

【女子シングルBクラス】

優 勝 福田 夏菜
(文学部 人文情報学科 第3学年)

<京都学生バドミントンクラス別大会>

於 龍谷大学他 (11月20日~11月27日)

【女子シングルBクラス】

準優勝 東 なつき
(文学部 哲学科 第1学年)

【女子ダブルスAクラス】

第3位 植村 佳奈
(文学部 史学科 第2学年)
庄島 舞子
(文学部 哲学科 第2学年)

【男子シングルAクラス】

準優勝 湊 一真
(短期大学部 文化学科 第1学年)

学問のしおり

もう30年ほど前のことであろうか。大阪まで松原祐善先生のお伴をしたときのことである。突然、そして静かに、「あなたの勉強していることは、このこと一つが分かれば、全部生きてくる」と仰せられたことがあった。当時私は、本学の大学院で原始仏教を専攻していた。しかし、生活に追い立てられていたこともあって、勉強の一切を投げ出し、大学には行かなかった。松原先生は、そのような私の怠惰を一度も咎められず、むしろ黙認しておられたと言ってよい。その先生が、何を思われたのか「このこと一つ」ということを、告げられたのである。もし私に「学問」ということを語ることができるのであれば、それは先生の「このこと一つ」という言葉が、私の心の奥底に灯っているからであろう。それにしても何故、ろくに「学問」をせずに、謂わば「パンの問題」に明け暮れていた私に「このこと一つ」ということを言われたのであろうか。

松原先生は、清沢満之先生については常に全

身で語られた。しかし、ご自分のことは多くは語られなかった。その先生が、ご自坊でのこの世の最後の暁天講座において、自らを真夏に身命を擲って鳴く蟬に例えての大獅子吼の中で、ご自身の大学進学する時の、病気で臥している御母堂との「たとえ私が死んだとしても、本当の仏教がわかるまで、この寺に帰ってくるな」という約束のことを話されたのである。そのとおり、先生は、母の死に出遇えなかったのである。そういう仏法大事という母の願いが、先生の全生涯にわたって厳格に、そしていきいきと、働きづめに働いていたのであろう。

松原先生は、大谷大学で、曾我量深先生に師事された。その曾我先生が、1930年に「異安心」ということで大学を追放されたのである。当時、学生であった松原先生は、その追放反対運動に身を投じておられたが、その甲斐むなしく挫折し、深い虚無と絶望の淵に立たされた。ここに松原先生は、そのような暗闇を懐いたまま、加賀の高光大船先生の夏期講習会に転がり



「このこと一つ」の学問

水島 見一

込まれたのである。そして、高光先生に「宗教はあくまで時代文化の光となり援助者となるでしょうか」との苦悩を告白されたのである。社会に有益な宗教を求めようとする思いは、マルクス主義が世相を風靡していた当時の若き学仏の徒にとって、極めて深刻な課題であった。

そのような松原先生の問いに、高光先生はすかさず「捨てたらよい。宗教は一文にもならぬ」と応えられたのである。社会に有用な真宗への思いを、一刀両断、「一文にもならぬ」と、斬り捨てることで、仏法の真髄を示されたのである。

ここに松原先生は、唯物史観の陰に身を潜めて、仏智疑惑に沈む自分自身に領かざるを得なかった。それは、社会有用の仏教を追及せんとする「インテリの苦悶」の消滅を意味する領きであった。かくて「インテリ」を美しく脱ぎ捨てることのできた松原先生の目前には、厳然と「このこと一つ」の公明正大な世界が広がったのである。顧みれば、「地位・名誉・財産を愛

する人は、人を愛せない」とは、エピクテタスの至言であったが、先生はその言葉を生涯大切にされ、実践されていた。

松原先生は、郷里の越前大野をこよなく愛し、親鸞聖人と同様に「群萌のこころ」を尊ばれていた。その先生が、私に「このこと一つ」を告げられたのである。すなわち、それは少なくとも、「インテリ」のための学問の奨励でなかった。そうではなくて、先生は、「群萌のこころ」とも言うべき「このこと一つ」の世界への気づきを、私に願われていたのである。それは、「学問」のみならずあらゆるものに通底する「一如」の教示でもあった。そのような松原先生の御心が、今ここに、温かく偲ばれるのである。

(みずしま けんいち 助教授 真宗学)

年度末・年度始めの日程

2005年度末

後期試験 1月24日(火)～2月2日(木)

2006年度始め

オリエンテーション開始

聴講登録表提出期間

4月4日(火)

4月13日(木)～17日(月)

前期授業開始

4月10日(月)

教務部

修士論文・卒業論文の口述試問等の日程

2005年度提出の修士論文・卒業論文について、口述試問を次のとおり実施します。日程発表日に『教務部①』掲示板で時間等をお知らせしますので、各自確認のうえ口述試問を受けてください。

	日程発表日	試問期間
修士論文	1月10日(火)	1月16日(月)～2月1日(水)
卒業論文	1月17日(火)	1月23日(月)～2月1日(水)

後期試験について

今年度後期試験は、1月24日(火)より2月2日(木)までの期間に実施します。試験方法、時間割等詳細は、1月10日(火)に教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表します。

後期追試験について

病気・不慮の事故等の事由で後期試験を受けられなかった学生について、次のとおり追試験を実施します。(詳細は『履修要項』で確認してください。)

1. 受験願受付期間

当該試験実施日から原則として1週間以内となります。

詳しい日程は教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」で確認してください。

2. 試験日

2月14日(火)・15日(水) (レポート提出締切日は2月14日(火)です。)

真宗大谷派教師修練・補任式について

後期修練 (文学部第4学年・短期

大学部第2学年主対象)

第1班 2月4日(土)～2月10日(金)

第2班 2月14日(火)～2月20日(月)

第3班 2月23日(木)～3月1日(水)

第4班 3月2日(木)～3月8日(水)

前期修練

(短期大学部第1学年主対象)

3月10日(金)～3月16日(木)

3月23日(木)～3月29日(水)

教師補任式 (全学合同)

3月18日(土)午前中に举行されます。式の時間等詳細は2月27日(月)に教務部掲示板にてお知らせします。

修了・卒業予定者氏名、並びに諸資格

(教職・保育士・大谷派教師・学芸員・社会福祉士) 単位修得合否の発表について

2月27日(月)午前10時に教務部掲示板にて発表します。卒業・修了予定者については大学ホームペー

ジ「学生向け情報提供システム」にも掲載します。各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

文学部の進級者の発表について

3月10日(金)午前10時に教務部掲示板及び大学ホームページ「学生向け情報提供システム」にて発表しますので各自確認してください。

なお、電話等での問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

今年度卒業予定者の証明書の発行について

今年度卒業予定者で、卒業式当日に卒業証明書・成績証明書(後期の成績を含むもの)・資格取得証明書が必要な場合は、次の期間

に申込みをしてください。
2月27日(月)～3月14日(火)
卒業式当日、卒業証書・学位記等と一緒にお渡しします。

※この期間より後の申込みについては、卒業式の翌日以降の発行になります。

年度末の証明書発行について

学割証・在学証明書・成績証明書は自動発行機で各自発行してください。(即日発行、学生証が必要)ただし、3月24日(金)～3月31日(金)

の期間は学年切替え作業のため証明書が発行できませんので注意してください。

科目等履修生・聴講生制度について

卒業後も開講科目を受講することのできる「科目等履修生・聴講生」制度を実施しています。

在学中に資格課程の単位を未修得のまま卒業した場合等は、この

制度によって必要な科目を履修することができます。

ただし、資格課程を履修希望の場合、出願資格・受講可能科目等に条件がありますので、早めに教

務部窓口にて相談してください。
出願書類配布 3月上旬(予定)
出願期間 4月3日(月)～4月7日(金)

学 生 課

学生証の返還及び更新について

3月17日(金)に卒業・修了される学生諸君は、卒業式当日に学生証を返還してください。ただし、学生証の有効期限は3月31日までです。学割などを使用される方は後日返還(郵送可)してください。

在学生については、新年度オリエンテーション期間の4月4日(火)に「2006年度在籍確認シール」を配付します。受け取り後、直ちに学生証裏面のシールを張り替えて有効期限を更新してください。新年度のシールが貼付されていない

学生証は無効となります。
オリエンテーションは、4月4日(火)～4月8日(土)の予定です。詳細決定後、3月上旬に保証人宛に郵送、ならびに学内に掲示します。

住所(帰省先・下宿住所)・電話番号等の変更は、速やかに届出を

保証人住所(帰省先など)・現住所(下宿住所)・電話番号(携帯電話)などに変更が生じた場合

は、速やかに学生課で「学籍事項登録票(変更)」を受け取り、修正手続きをしてください。修正され

ませんと、大学からの重要かつ緊急の連絡ができずトラブルの原因となりますので注意してください。

海外渡航についての注意

春期休暇を控え、学生諸君の中には海外渡航の計画を進めておられる方も多いと思います。アメリカでの同時多発テロ発生以来、戦争や紛争、また、鳥インフルエンザ等、海外で不測の事態に巻き込まれる危険が増大しています。渡航にあたっては、以下のホームページにて、渡航先の治安状況、衛生状態等を調査し、情報をこまめにチェックした上で慎重に計画を立ててください。利用する旅行会社・航空会社について信頼できる会社であるか、緊急連絡体制は万

全か確認してください。また、自分自身を守るため海外旅行傷害保険に必ず加入してください。

厚生労働省検疫所ホームページ
(海外渡航者のための感染症情報)

<http://www.forth.go.jp/>

外務省海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

渡航については「学生渡航届」の提出が必要です。指導教員の承認を得たうえで必ず学生課に提出してください。

万一、日本到着後に発熱、咳、嘔吐などの症状がある場合は、すぐに最寄りの保健所に電話で相談して下さい。また、すみやかに大学へ電話により状況を知らせてください。

本学連絡先 075-411-8120 (保健室)

総務課

卒業証書並びに学位記授与式について

2005年度卒業証書並びに学位記授与式を次のとおり挙行いたします。

日程：2006年3月17日(金)

		第1部	第2部	第3部	真宗大谷派教師資格取得 コース履修生修了証書授与式
対象専攻・学科		大学院：真宗学・仏教学 哲学・社会学 文学部：真宗学科・仏教学科 哲学科・社会学科	大学院：仏教文化・国際文化 文学部：史学科・文学科 国際文化学科 人文情報学科	短期大学部：仏教科・文化学科 幼児教育科	真宗大谷派教師 資格取得コース履修生
卒業証書・ 学位記授与式	時間	9時30分	11時15分	13時00分	12時15分
	場所	講堂	講堂	講堂	尋源講堂
学位記・証書・ 履修単位通知書等配布	時間	10時30分	12時15分	13時50分	
	場所	1号館(詳細は後日)	1号館(詳細は後日)	2号館(詳細は後日)	

※証書等の配付方法について

講堂での式典終了後、引き続き各学科ごとに教室に分かれ、証書等を各学科の代表の先生より卒業生の皆さん1人ずつにお渡しいたします。

卒業予定者のみなさんは、講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。
在学生のみなさんは、卒業生の移動、式典等のスムーズな進行にご協力をお願いします。

※お願い

卒業予定者のみなさんへ：講堂での式典終了後、各学科ごとに指定された教室へ速やかに移動してください。
式典の進行にご協力ください。

在学生のみなさんへ：講堂での式典終了後、卒業生の方々に証書等の配布をすぐに行いますので卒業生の移動、式典等のスムーズな進行にご協力をお願いします。

校友センター

卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会のご案内

本学では、毎年本学を卒業・修了し、新たに同窓会員となられる方々を対象に、大谷大学・大谷大学短期大学部と大谷大学同窓会の共催で「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」を開催しています。

今年も昨年同様、市内のホテルを会場として実施し、当日は本学教職員も出席の予定です。サークルによるアトラクションも企画しております。

卒業証書・学位記授与式にご出席の父母兄弟の皆さまもお誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

■日時 3月17日(金)
*卒業証書・学位記授与式終了後
16:30~18:30

■会場 京都ホテルオークラ
4F 暁雲の間

[交通機関]

地下鉄烏丸線「烏丸御池」下車
〔乗換〕地下鉄東西線「京都市役所前」下車すぐ

■立食パーティー形式

*「大谷大学卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会」の案内状は、卒業・修了通知書とともにお届けいたします。



昨年の祝賀会風景

なお、当日は各自会場へご集合ください。

〈お願い〉祝賀会場は例年大変混雑しております。会場内は禁煙とさせていただきます。また、在学生の参加はご遠慮ください。

図書館

延滞に伴う貸出・予約停止の処置の変更について

図書館では、利用者の便をはかるとともに、利用ルールを図書館規程として定めています。

本館では、2006年4月1日から、延滞（返却期限を過ぎてても未返却のことをいう）に伴う罰則の内容

を変更し、返却期限日から超過した日数と同日数の間、貸出・予約停止（従来は、延滞4日めから1日ずつ最大14日間の貸出・予約停止）することといたしました。

返却が遅れることにより他の利

用者の不利益となる場合があります。図書・資料は利用者共有の財産という自覚をもってご利用ください。

2005年11月

大谷大学図書館長 沙加戸 弘

年度末の図書館利用について

2006年1月7日(土)からの図書館の開館は次の通りです。

都合により変更がある場合は、掲示・HPにてお知らせします。

貸出中の図書は、返却日までに必ず返却してください。

期 間	開 館 状 況	期 間	開 館 状 況
1月7日(土)	■平常開館 (月)~(金) 9:00-19:30 (土) 10:00-17:30 (日・祝日) 休館	2月13日(月)	■短縮開館 2/13(月)~3/16(木) 10:00-17:30 3/20(月)~3/24(金) 13:00-17:00 (土日・祝日) 休館
1月16日(月)	■特別開館 1/7(土)~9(月) 10:00-17:30		*3/7(火)は、一般入試[第2期]のため、休館 *3/17(金)は、学位記授与式のため、利用は返却手続と閲覧のみ 9:00-15:00
1月17日(火)	■後期試験 対応開館 (月)~(金) 9:00-20:00 (土) 10:00-17:30		■休館(館内整理)
2月1日(水)	(日・祝日) 休館	4月3日(月)	3/27(月)~4/3(月)
2月2日(木)	■平常開館 (月)~(金) 9:00-19:30 (土日・祝日) 休館	4月4日(火)	■入学式 休館
2月10日(金)	*2/4(土)~7(火)は、一般入試[第1期]のため、休館		

図書館の利用について

レポートの作成や自習などに、ぜひ図書館を活用してください。なお、図書館を利用するには、次のことに注意してください。

1. 大切な資料を守るため、飲食は禁止です。また、響流館内は禁煙です。
2. 周りの利用者の迷惑になる私語や、携帯電話の使用は禁止です。

3. 借りた資料は次の利用者のため、期限内にカウンターで返却手続をしてください。

財 務 課

2006年度 前期学生納付金(学費)の納入について 納入期限は4月20日(木)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(木)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に2006年3月31日に大学より一斉発送します。保証人

住所、現住所、電話番号など、学籍事項に変更があった場合は必ず学生課に「学籍事項登録票(変更)」を提出してください。また、振込依頼書が届かない場合、または紛失、破損した場合には再発行しますので、財務課まで申し出てください。

なお、事情により期限内納入が困難と予測される場合には、必ず納入期限までに、学生課に相談し、学費延納の手続きをしてください。

手続きには「学費延納許可願」(所定用紙) および学生納付金負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

2006年度前期学生納付金一覧		学 費		その他の費用			合 計 額
		授 業 料	施 設 費	大谷学会費	学生会費	教育後援会費	
文 学 部	真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	人文情報学科	397,500	175,000	1,000	2,500	15,000	591,000
短期大学部	仏教科・文化学科	397,500	100,000	1,000	2,500	15,000	516,000
	幼児教育科(幼児教育保育科)	397,500	110,000	1,000	2,500	15,000	526,000
大 学 院	修士・博士後期課程(2005年度以前入学生)	240,000	60,000	1,000		15,000	316,000
	修士・博士後期課程(2006年度以降入学生)	240,000	100,000	1,000		15,000	356,000

(幼児教育保育科は2006年度入学者より適用)

進路就職センター

進路就職センターは、進学や就職など、進路全般についての相談窓口です。学年を問わず気軽にご相談ください。

就職支援企画

―企業経営者による講演会―

2007年3月卒業・修了予定者対象

採用試験を受けるにあたって、企業の経営者は、新卒採用においてどのようなところにポイントをおいて選考されておられるのかを理解し、今後の就職活動に向けて主体的に取り組んで行くための講演会です。

日時：1月17日(火) 17:50~19:20

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

―履歴書用写真撮影(有料)―

今後必要となる履歴書用写真を、学内や写真館のスタジオで撮ることができます。それぞれ割安で購入できますので利用してください。

◇学内撮影 日時：1月11日(水)・12日(木)・13日(金) 10:00~17:00

場所：至誠館2F会議室

費用：20枚セット 2,000円・40枚セット 3,000円(税込・CD希望者は500円アップ)

◇スタジオ撮影 : 12月1日(木)~(随時) 10枚セット 2,000円 学生証提示

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

―就職ガイダンス―

2007年3月卒業・修了予定者対象

後期試験が終了するころには、いよいよ各企業の本格的な採用活動がスタートします。就職活動にあたっての注意事項・応募書類・その他重要な事項について説明します。

日時：2月15日(水) 10:00~11:30

場所：1214教室

ー学内企業セミナーー

2007年3月卒業・修了予定者対象

学内で開催される合同企業セミナーです。約60社程度の参加があり（2日間合計）、毎年このセミナーから多くの内定者がでています。実践的な就職活動の始まりともいえる学内企業セミナーで、まずは就職活動がどのようなものかを体験してください。

日時：2月15日(水)・21日(火) 13:00～16:30

場所：博綜館5F第1・第2会議室

※詳細につきましては、進路就職センター掲示板で確認してください。

ー面接実践講座（1日完結型）ー

2007年3月卒業・修了予定者対象

これから始まる就職活動において、面接はほとんどの企業で実施されます。それほど重要視される面接の対策講座です。ぜひ受講し、面接への不安感を取り去りましょう。

日 程 (いずれも13:00～17:30)		会 場
2月	8日(水)・9日(木)・13日(月)・14日(火) 16日(木)・17日(金)・20日(月)	1205教室

受付：1月18日(水)～2月2日(木)17:00まで

費用：無料 (いずれか1日を選択の上、進路就職センター窓口に申し込むこと)

※受講人数は1日60人です (定員充足次第締切)。

第1学年からのサービス紹介 ～キャリア形成を考える～

～資格取得を目指そう～

◎マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト

(Word・Excel) 対策講習 第6回

仕事をするうえで最も使用されているWord・Excelについての講習です。また別途申込でマイクロソフト・オフィス・スペシャリスト検定試験も受験できます。

マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト対策講習

●第6回

日 程	時 間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月 8日(水)～10日(金) 13日(月)～17日(金)	10:00～15:40	30名	5,000円	3,780円 (学内書店にて購入)	1月16日(月) ～1月25日(水)

～難関試験に早期から備えよう～

◎公務員受験特別講習 演習講座

公務員希望者を対象に、採用試験に対しての受験対策講習を開講します。

今回の講習は、地方中級レベルから大卒警察官・大卒消防職員レベルに向けての政治・経済・一般知能分野（数的推理・判断推理・資料解釈）対策となります。受講学年は問いません。

公務員受験特別講習 演習講座

日 程	時 間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月 13日(月)～17日(金)	10:30～16:00	50名	5,000円	受講料に含む	1月16日(月) ～1月25日(水)

◎第2回教員受験特別講習<教職教養>

教員希望者を対象に、採用試験対策講習を開講します。

今回は、最新の全国採用試験から選んだ問題を解きながら第1回の学習を復習、深化、統合し、問題を解くとき横断的考察ができるようにします。受講学年は問いません。

教員受験特別講習 <教職教養>

日 程	時 間	定員	受講料	テキスト	受付期間
2月 8日(水)・10日(金)・13日(月) 15日(水)・17日(金)・20日(月) 22日(水)・24日(金)	14:30～16:00	50名	4,000円	500円	1月23日(月) (～17:00)
3月 1日(水)・3日(金)・8日(水) 10日(金)・13日(月)・15日(水) 20日(月)・24日(金)・27日(月) 29日(水)・30日(木)・31日(金)					

●日程、時間、受講料等については予定です。実施要項や掲示等に注意してください。

2006年度学費について

本学では、学生納付金のうち文学部および短期大学部の授業料については、毎年一定の算式で改訂するスライド方式を採用しています。

2006年度の文学部と短期大学部の授業料については今年度同様、スライド率を0.00%とし、2005年度の授業料の額（795,000円）のまま据置とし、施設費も2005年度と同額の200,000円とします。なお、大学院の授業料も2005年度の額（480,000円）のまま据置と致しますが、大学院の施設費は研究施設の改善等を鑑み、2006年度入学生から200,000円と致します。現在在学されておられる方は、従来の通り120,000円です。

本学では、2005年度入学生からカリキュラムの改変を実施し、高校教育から大学教育へのスムーズな導入を図るために、「大学導入科目（学びの発見）」と「学科導入科目（専門の技法）」を新設しました。文学部の「学びの発見」では、その授業を補佐するティー

チングアシスタント制を導入し、綿密な指導を受けることができるようにするとともに、ティーチングアシスタントである大学院生との関係も深まり、授業時だけでなく、研究室における学習指導へと発展することを願っています。

また2005年度入学の大学院生からはセメスター制を取ることによって、大学院生の海外への留学や外国人留学生の受入等の国際交流が、より活発になることが期待されます。また、大学院学生の自発的研究学習活動を確保・促進するために、従来の所要単位数を大幅に減らしました。これにより今まで以上に、自らの研究に専念し関連する研究会等に積極的に参加し、指導教員からの研究指導を頻繁に受け、また後輩学生の学習を支援することも可能となります。

キャンパスの施設整備では、バリアフリー化を順次進めており、2005年度には、響流館から至誠館までの点字ブロックの敷設や部室棟にエレベーターを設置し、すべ

ての学生の皆さんが快適に学生生活を送れるように整備をすすめました。

2007年度に到来する大学全入時代に加え、国立大学の独立法人化や株式会社設立の大学の認可、第三者評価制度の導入などによる競争の激化や国庫補助金の伸び悩みなど、私立大学を取巻く環境は非常に厳しいものがあります。

このような中で、仏教精神に立って人間を全体的、根源的に深く考え、人間として生きる「智慧」を学修し、人間存在の根源的な解明が、あらゆる学問・研究に通用する根本の問いであることを旨とする本学が、世界に輝く大学として存立することをめざしています。そのためにも、教育研究の一層の充実をはかり、安定かつ強固な財務基盤の確立をめざして経営努力を続けてまいります。ご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(大谷大学・大谷大学短期大学部)

(A) 文学部

(年額)

学費	学科	真宗・仏教・哲学・社会・史学・文学・国際文化学科	人文情報学科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	350,000
合計		995,000	1,145,000

(2006年度入学者は入学金200,000円必要)

(B) 短期大学部

(年額)

学費	学科	仏教科・文化学科	幼児教育科・幼児教育保育科
授業料		795,000	795,000
施設費		200,000	220,000
合計		995,000	1,015,000

(2006年度入学者は入学金200,000円必要)

(幼児教育保育料は2006年度入学者から適用)

(C) 大学院文学研究科

(年額)

学費	課程	修士課程	博士後期課程
授業料		480,000	480,000
施設費		200,000	200,000
合計		680,000	680,000

(2006年度入学者は入学金200,000円必要)

(2006年3月以前の入学者の施設費は120,000円)

谷大エリア散策

第22回 ル・プラヌールさん（喫茶店）



店長・寺川裕子さんとご主人の保彦さん

大学の南隣の喫茶店、ル・プラヌールさんの店長・寺川裕子さんとご主人の寺川保彦さんにお話を伺いました。元々は牛乳屋さんで、学内の自動販売機でもお世話になっています。

一お店は大学のすぐ隣ですね

うちの本業は牛乳屋ですが、私が結婚してこの家へ来てからまもなく、今の散髪屋さんの場所に7坪ほどの小さな店を出しました。もう26年前になるかしら。当時は大学の正門がもっと南、店のすぐ北側にありましたね。正門が現在の場所へ移り、うちも建て替えて店を今の場所に移しました。今、うちにいる猫は"谷大生まれ"なんですよ。

一当初から学生や職員はよく来店していましたか

もちろんです。昔は軽音楽部や体育会の学生さんが毎日のように来て下さっていて、「"プラ"へ行く」というのが合い言葉のようなものでした。先生にも長いおつきあいの方がおられます。思い出話はたくさんあり過ぎて、何をお話ししたらいいのかわからないくらいです。

アルバイトは代々ずっと大谷の学生さんです。バイトさんの就職や結婚のお世話をさせていただいたこともありますよ。バイトさん同士や、お客さんとバイトさんとかね。皆さんご結婚されてからも、ここでの調理などの経験がとても役に立っていると言って下さいます。

最近ですが、ジャズ研究会出身で音楽活動をされていた方がお亡くなりになり、うちで追悼会がありまし

た。全国から友達が駆け付けられて、その方の好きなCDをかけて偲んでおられましたよ。

一人気のメニューやお店のお薦めのメニューを教えてください

一番人気は大谷の学生さんのアイデアを基に作ったインディアンピラフです。これはヤクルトの古田敦也監督や元マリナーズの長谷川滋利さんが学生時代からお気に入りの一品なんですよ。古田さんと長谷川さんは立命館大学野球部の先輩・後輩関係で、北大路の立命館中学・高校の裏に野球部の練習場があったので、帰りによく寄って下さっていました。



人気メニュー インディアンピラフ

一大学の近くの暮らしについて

昔の我が家では私（保彦さん）の部屋が正門の真上にあり、時計台が見えて眺めが良かったですよ。桜の季節になると、お花見に行かなくても家で毎日楽しめました。キャンパスはまるで森のようで、桜、花梨、枇杷、金木犀など、季節の花々の香りがしていました。うちの大おばあちゃんは窓から枇杷の実を取って食べていましたよ。赤レンガの建物も木々も美しく、大学の中を歩くだけで清々しい気分になりました。本当にいい所でしたよ。周囲にも高い建物はありませし、この辺りの景観は素晴らしいものでしたから、昔は大学で映画の撮影がよく行われていました。3ヶ月に1度くらいでしょうか。うちの店にも監督さんや俳優さんたちがたくさん来られました。今では、たくさんあった桜や立派なヒマラヤ杉の並木がなくなってしまったのがとても残念です。

グラウンドもクローバーとヒマラヤ杉に囲まれた素敵な場所でした。町内会の運動会などの催しがあってよく遊んだものです。近所の人から牛乳の配達注文を受けると、住所を言わずに「1 壘ベースのあたりの〇〇です」「3 壘の近くの〇〇です」と名乗られるのです。うちへの手紙も「大谷大学南隣」で届いていました。

下宿生の中には、大阪などに就職が決まっても、お母さんから「引越さないで」と頼まれて、住み続けて通勤している人が結構おられますよ。お母さんがこの環境を気に入られて、泊りがけで京都へ遊びに来られるためらしいですね。

私（裕子さん）は、高校生の時にこの近くに住んでいた友達が何度か訪ねたことがあり、土地柄に憧れていまして、このあたりに住むのが夢でした。また母の実家が料理の専門学校を経営していましたので、何か料理の仕事がしたい、それも学生さんがたくさんいるところできたら、という夢を持っていました。ここに嫁いできて2つの夢がかなったんですよ。大学の美しいチャイムの響きを初めて聴いたときは感動しました。ここに住んでいたら他には何もいらぬ、と思えるくらいです。京都が一番良い所ですよ。



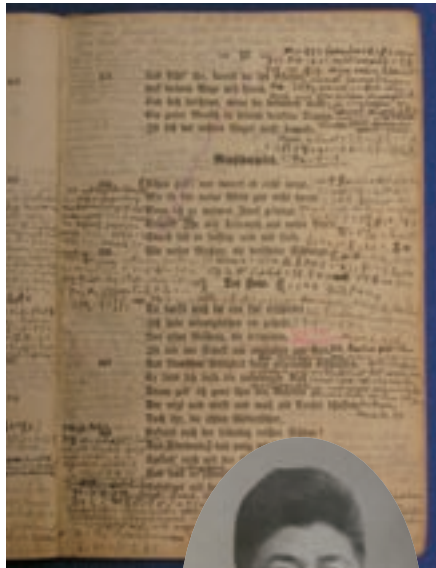
烏丸通りに面するお店

いつか時間ができたら大学の生涯学習講座で学んで、より充実した時間を過ごしたいと思っています。

一ありがとうございました

写真でふりかえる 大谷大学今昔

大庭教授の旧蔵書『ファウスト』
びっしりと書き込みがされている



中島万次郎教授



外村完二教授



大庭米次郎教授



ドイツの新聞『Frankfurt Neue Presse』

特別展「ファウスト 伝説と作品」とドイツ文学講座を支えた三教授

佐々木 令信

二〇〇五年年度の大谷大学博物館特別展として、二〇〇五年十月一日〜二十三日にかけて「ファウスト 伝説と作品」が開催され、三千三百三十三人の来場者を見る盛況であった。ドイツの新聞『Frankfurt Neue Presse』（十一月三日付）にも記事が掲載された。

そこで、大谷大学におけるドイツ文学の伝統をふりかえってみよう。大谷大学のドイツ文学講座は、昭和二十六年（一九五二）に西洋文学第二講座として開設された。当時の京都の大学にあって、ドイツ文学の講座を有する大学は、京都大学以外にはなく、画期的なことであった。そのドイツ文学講座を支えたのが、大庭米次郎、外村完二、中島万次郎の三教授であった。

大庭米次郎は、大正十三年（一九二四）に予科教授に就任し、大谷大学のドイツ文学を支えられたが、その学究対象として最後に行き着かれ、もつとも心を砕かれたのが、ゲーテの「ファウスト」であった。日本の文学や芸能、美術に対する造詣も深く、安居において曾我量深の聴衆になるなど、その学問に裏打ちされた純粋な人格に刺激された学生が多かった。

外村完二は、大正十二年（一九二三）に予科教授に就任し、ドイツ文学者としては「ヘルマン・ヘッセ」等の著書によって、また一方で、映画評論家として新聞や『キネマ旬報』などの雑誌に毒気のある筆致で評論を寄せられ、日本の多くの人たちに影響を与えた名物教授であった。その刺激的な言葉も、豊かな知的創造性と温和な人間性によるものであったから、「とのかん」の愛称とともに、多くの学生から敬愛された。

中島万次郎は、昭和二年（一九二七）に京都大学の美学を卒業後、大谷大学予科教授に就任された。ドイツ文学はもちろんのこと、絵画芸術の分野においても多くの刺激を与えられ、物静かで、穏やかかつ厳正な風格を備えられていた。

このような、極めて個性的で、学問の幅の広い教授陣によって、大谷大学のドイツ文学講座は開かれ支えられていったわけであるが、それは、「大谷大学樹立の精神」に説かれる、ヨーロッパの学問をはじめとした諸学問の幅広い交流の中から、学としての仏教を世界に解放することの延長線上に位置するものといえる。特にドイツでは学の自由を尊ぶことが特徴とされているが、それは、これら三教授の独自の個性的な学問のスタンスにあますところなくあらわれていたといえる。

大谷大学のドイツ文学の原点には、大谷大学の学問の自由さ、健全さ、そして広がり存在した。研究の個別分散化の現状において学の交流の必要性が認識されている現在、先般開催された特別展「ファウスト 伝説と作品」は、大谷大学にとってその学問の原点をふりかえる機会でもあったのではないだろうか。

（つぎ） れいしん 教授 日本仏教史

学生相談室から



ある中学校の不登校生徒に父子家庭のため三食とも渡されたお金でとっている子がいた。ある時、その生徒がひよこりと学校に現れた。話を聞いてみると、食事は食欲がわかず、実際は一日一食か二食で、飲み物だけで済ませることもあったようだ。それから彼が登校した時は昼食だけは誰かととるようにと考え、教師が必ず同席することになった。その後、彼は毎日登校し、よく話すようになり、友人と遊んだり、不潔だった身なりも清潔になっていったのである。

この事から、彼は口に物を入れて

だけの「味も素っ気もない」生活(Ⅱ食

食

近未来が舞台の映画を見ると、食事のシーンで一日の栄養素が詰ったクッキーを一つ食べるだけで終わってしまうというのがあった。現在でもサプリメントや栄養バランス飲料など様々な食事が売られているが、「食べること」というのは体や生命を維持するためだけなのだろうか。

（きくおか ちなつ）
 事）から、感情(Ⅱ味)のある生活(Ⅱ食事)になっていったように考えられる。こんな風においしかったり、まずかったり、楽しかったりと味わって、「食べること」には、生活を感情豊かに味わうことにもつながっているようである。皆さんも味わって食べていますか？

菊岡 千夏

学生相談室の開室について

場所	曜日	相談室	学生相談員	相談日時
学生相談室 (博綜館1階)	月曜日	1 2	谷口奈青理	10時30分～16時00分
	火曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	水曜日	1	宇佐 晋一 (神経科校医)	第2週・第4週 13時30分～16時00分
		2	佐賀枝夏文	10時30分～14時00分
	木曜日	1 2	讓 西賢 菊岡 千夏	10時30分～16時00分
	金曜日	1 2	菊岡 千夏	10時30分～16時00分

出版物紹介

『正像末和讃を読む —悲泣にはじまる仏道—』

木越 康 著
 真宗大谷派大阪教務所 刊
 (2005.6) 281頁



『続 清沢満之と歎異抄』

延塚知道 著
 文栄堂 刊
 (2005.12) 86頁



『中国の歴史12 日本にとって中国とは何か』

礪波 護 共編著
 講談社 刊
 (2005.11) 406頁

『ツォンカパ 菩提道次第大論の研究』

白館戒雲・藤仲孝司 共訳
 文栄堂 刊
 (2005.9) 466頁

『頼富本宏博士還暦記念論文集』

マンダラの諸相と文化 金剛界の巻 胎藏界の巻』

頼富本宏博士還暦記念論文集刊行会 編
 佐々木令信・吉元信行 分担執筆
 法蔵館 刊
 (2005.11) 金剛界の巻 1026頁 胎藏界の巻 861頁

「大谷大学広報06一春」発行のお知らせ

「大谷大学広報06一春」の発行を4月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

①博綜館ピロティエ (博綜館入口横) ②学内食堂 ③各研究室 ④至誠館 (学生課カウンター前) ⑤1号館1階 ⑥2号館1階
 また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。

http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html

研究室だより

総合研究室から

1月7日(土)、1月8日(日)、9日(月祝)は、卒論提出日直前のため特別開室します。

1月、2月、3月の総合研究室の開室は以下のとおりです。後期試験、卒業式等により変則的な開室日もあるので、注意してください。

なお、開室日や開室時間の変更は、学生向け情報提供システム、学内掲示板に掲載します。確認してください。

1月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月						
		1	2	3	4	
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

赤字は響流館の休館日。黒字は、9時開室 19時30分閉室 青字は、10時開室 17時30分閉室
緑字は、9時開室 20時30分閉室 黄字は、9時開室 18時閉室

※1 3月17日は卒業式のため、15時の閉室予定です。祝賀会等の時間により変更されることがあります。

短期仏教科研究室から

○3月中旬に『仏教研究紀要』第28号の発刊を予定しております。ご希望の方は、研究室までご連絡ください。

幼児教育科一般研究室から

○「卒業研究発表会」を1月11日(水)午後4時10分～(第5・6時限)に開催します。授業の一環として行いますので、1・2年生とも必ず全員出席してください。会場は響流館3Fのメディアホールです。詳細については、2号館1階の幼児教育科専用掲示板でお知らせします。
○『大谷大学短期大学部幼児教育科研究紀要』第7号を発刊しました。幼児教育科の学生の皆さんに

は、授業のときにお渡しします。
○3月中旬に、今年度の2年生が提出した「卒業研究」の要旨集を『卒業研究第39号』として発刊します。2年生には卒業式の日、1年生には進級時のオリエンテーション(4月)のときにお渡しします。
○現在、幼児教育科一般研究室の図書を借りている方は、1月16日(月)までに必ず返却してください。

学会だより

真宗学会

『親鸞教学』第86号を刊行予定です。

仏教学会

1月中旬に卒業論文梗概発表会ならびに送別懇談会を開催します。詳細は後日お知らせします。

哲学会

2月中旬に「談話会」を開催予定。詳細は後日お知らせします。

国史学会・日本仏教史学会

日本史の会では、隔月で例会を開催しています。1月28日(土)、3月25日(土)14時から開催する予定です。詳細は後日お知らせします。

文藝学会

『文藝論叢』第65号を刊行しました。第66号は3月刊行の予定です。

2006年度 自己推薦入試結果

学 部	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
							最高点	最低点
文学部	仏教学科	10	31 (10)	31 (10)	23 (10)	1.3	86	63

注：① () 内数字は女子内数
②得点は100点満点

2006年度 公募制推薦入試結果

学 部	方 式	学 科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	合格者得点	
								最高点	最低点
文 学 部	方 式	真 宗 学 科	10	27 (0)	24 (0)	15 (0)	1.6	128	94
		仏 教 学 科	10	8 (0)	8 (0)	7 (0)	1.1	129	67
		哲 学 学 科	10	21 (12)	20 (12)	12 (8)	1.7	134	98
		社 会 学 科	20	103 (43)	101 (43)	35 (21)	2.9	123	97
		史 学 学 科	10	58 (18)	57 (17)	15 (5)	3.8	131	106
		文 学 学 科	10	49 (29)	49 (29)	18 (15)	2.7	130	105
		国際文化学科	10	35 (18)	35 (18)	20 (15)	1.8	126	97
	人文情報学科	10	35 (13)	35 (13)	17 (7)	2.1	109	93	
	合 計	90	336 (133)	329 (132)	139 (71)	-	-	-	
	方 式	真 宗 学 科	10	33 (2)	32 (2)	15 (1)	2.1	123	99
		仏 教 学 科	10	11 (1)	11 (1)	11 (1)	1.0	113	71
		哲 学 学 科	10	47 (19)	46 (18)	29 (14)	1.6	126	98
		社 会 学 科	20	199 (89)	198 (89)	38 (26)	5.2	134	105
		史 学 学 科	10	136 (45)	134 (45)	24 (9)	5.6	140	112
文 学 学 科		10	107 (64)	107 (64)	23 (20)	4.7	122	107	
国際文化学科		10	70 (42)	69 (41)	32 (20)	2.2	127	99	
人文情報学科	10	73 (26)	73 (26)	18 (9)	4.1	124	101		
合 計	90	676 (288)	670 (286)	190 (100)	-	-	-		
文 学 部 合 計			180	1,012 (421)	999 (418)	329 (171)	-	-	-
短 期 大 学 部	A 方 式	仏 教 科	13	12 (6)	12 (6)	12 (6)	1.0	113	64
		文 化 学 科	15	22 (16)	22 (16)	22 (16)	1.0	119	77
		幼児教育保育科	15	124 (102)	122 (100)	17 (12)	7.2	129	107
	合 計	43	158 (124)	156 (122)	51 (34)	-	-	-	
	B 方 式	仏 教 科	10	12 (3)	12 (3)	12 (3)	1.0	108	67
		文 化 学 科	15	42 (35)	41 (34)	41 (34)	1.0	124	84
		幼児教育保育科	15	152 (128)	143 (120)	21 (19)	6.8	132	114
合 計	40	206 (166)	196 (157)	74 (56)	-	-	-		
短期大学部合計			83	364 (290)	352 (279)	125 (90)	-	-	-
総 計			263	1,376 (711)	1,351 (697)	454 (261)	-	-	-

注：① () 内数字は女子内数
②得点は150点満点

2006年度 大学院秋季試験(修士課程)結果

課程	専 攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修 士 課 程	真 宗 学	定員 (20) の 50%程度	本 学	21 (1)	21 (1)	11 (1)	2.0
			他 大 学	5 (0)	5 (0)	2 (0)	
	仏 教 学	定員 (20) の 50%程度	本 学	7 (2)	7 (2)	5 (2)	1.5
			他 大 学	2 (0)	2 (0)	1 (0)	
	哲 学	定員 (10) の 50%程度	本 学	2 (1)	2 (1)	1 (1)	2.0
			他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
社 会 学	定員 (10) の 50%程度	本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0	
		他 大 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
仏教文化	定員 (20) の 50%程度	本 学	4 (1)	4 (1)	2 (1)	2.5	
		他 大 学	1 (0)	1 (0)	0 (0)		
国際文化	定員 (10) の 50%程度	本 学	2 (2)	2 (2)	2 (2)	1.0	
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合 計	定員 (90) の 50%程度	本 学	36 (7)	36 (7)	21 (7)		
		他 大 学	9 (0)	9 (0)	4 (0)		
		計	45 (7)	45 (7)	25 (7)		

注：() 内数字は女子内数。

2006年度 大学院社会人入試(修士課程)結果

課程	専 攻	募集人員	区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
修 士 課 程	真 宗 学		本 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1.0
			他 大 学	2 (1)	2 (1)	2 (1)	
	仏 教 学		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-
			他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
	哲 学		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0
			他 大 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)	
社 会 学		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
仏教文化		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
国際文化		本 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)	-	
		他 大 学	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合 計		本 学	1 (0)	1 (0)	1 (0)		
		他 大 学	3 (1)	3 (1)	3 (1)		
		計	4 (1)	4 (1)	4 (1)		

注：() 内数字は女子内数。

大谷中学校・大谷高等学校からのお知らせ

■入学試験のお知らせ

大谷中学校入学試験（2006年度）

願書受け付け

- 郵送出願 {12月21日(水)から12月26日(月)まで} 消印有効
- 窓口出願 {1月5日(木)・6日(金)9:00~16:30まで}

	試験日	入試科目	合格発表日時・場所
S入試	1月14日(土)9:00より	国語・算数・作文	1月17日(火) 午前10時より 本校で提示します。
A入試	1月15日(日)9:00より	国語・算数・理科・社会	

大谷高等学校入学試験（2006年度）

※知進寮入寮生試験について（出願には、本校が定める規定があります。）

出願日

1月4日(水)～1月6日(金)

試験日

1月15日(日) 午前9時より試験開始
(英語・作文・面接)

※高校入学試験について（バタビア・インテグラルの2コースあり）

出願日

1月25日(水)～1月28日(土)9:00～16:30まで
本校事務室窓口または郵送（必着）

試験日

2月10日(金) 9:00より開始

試験科目

国語・社会・数学
理科・英語（リスニングはなし）
各科目 100点満点・各50分

合格発表

2月13日(月) 受験生宛に郵送
2月14日(火) 9:00、ホームページにて公表（受験番号のみ）
<http://www.otani.ed.jp/>

（電話等での問い合わせには応じられませんので、あしからずご了承ください。）

■今熊野セミナーのお知らせ（2005年度最終回）

2006年1月31日(火) 午後2時～午後4時まで（第1会議室にて）

講話内容 — 『宗教教育とは』

講師 — 真城義麿学校長

九州大谷短期大学からのお知らせ

◆2006年度一般・社会人入試日程

	出願期間	試験日
一般入試A 社会人 長期履修 (第2次募集)	1月16日(月)) 1月31日(火)	2月4日(土)
一般入試B 社会人 長期履修 (第3次募集)	2月20日(月)) 2月28日(火)	3月4日(土)
一般入試C 社会人 長期履修 (第4次募集)	3月15日(水)) 3月24日(金)	3月29日(水)

※専攻科・福祉専攻入試もございます。

※長期履修学生制度については広報室まで
お問い合わせ下さい。

お問い合わせ

九州大谷短期大学広報室（TEL0942-53-9900）

◆「真宗大谷派教師試験検定」準備学習会のご案内

大谷派教師資格試験検定受検のために
真宗の教えを基礎から系統的に学ぶために

- 1.会場／本学生涯学習センター
- 2.開設期間／2月14日(火)～2月23日(木)
※18日(土)・19日(日)は休講
- 3.講義科目／①真宗学 ②仏教学 ③教化学
④声明作法 ⑤法規
- 4.受講希望受付／12月22日(木)まで
- 5.受講手続期限／1月31日(火)まで

※事前に申込み連絡をしていただいた上での
願書提出・受講料納付の期限となっております。

お問い合わせ

九州大谷短期大学総務課（TEL0942-53-9900）

2006年冬季生涯学習講座案内

大谷大学では様々な教養をお求めの方に、本学の知的資産をベースとした生涯学習講座を開講しています。本学ならではの宗教・信仰を求めていく講座、21世紀をいかに生きるのかをテーマとする最先端講座、京都の文化の奥深さを知る講座。切り口は多様ですがそこには常にひとのこころが流れています。これからも大谷大学の生涯学習講座にご期待ください。

紫明講座

○真宗本廟（東本願寺）造営の軌跡 —造営と四度に及び再建をめぐる仏教史—

東本願寺は正しくは真宗本廟と称します。「なぜ真宗本廟か？」を尋ね、本廟が本願寺という寺院となった道、および東西本願寺ができた経緯、さらに東本願寺ができて以降の焼失の連続と門徒の力による再建の歴史。それらを「真宗本廟（東本願寺）造営の軌跡」というテーマで、専門研究者が分かりやすくリレー講義します。東本願寺の造営と再建をめぐる親鸞・蓮如ほかの先師と、あまたの真宗門徒たちによる信念の合力の軌跡をたどります。

プログラム：

- ① 2月16日(木) 14:00～15:30
「親鸞と真宗本廟の草創、そして本願寺の成立」
- ② 2月23日(木) 14:00～15:30
「両堂形式の成立と戦国時代の堂舎」
- ③ 3月2日(木) 14:00～15:30
「江戸期に繰り返された焼失、そして明治期の再建」
- ④ 3月9日(木) 13:00～15:00
「真宗本廟フィールドワーク」
現地にて法話、瓦洗い、修復現場視察（予定）

講 師：木場明志（本学教授・コーディネーター）、
草野顕之（本学教授）、東館紹見（本学講師）
会 場：響流館3Fメディアホール
定 員：講座100名 フィールドワーク40名
受講料：講座+フィールドワーク 4,500円
講座のみ 3,000円
締 切：2月2日(木)当日消印有効

○アジアに行く① 高原の祈り—チベットの宗教と文化—

チベットは、世界の屋根ヒマラヤをはじめとする雪山に囲まれた高原地帯である。そこには複雑な地形や、独特の気候の影響で多種多様な動植物が息づく。そうした自然環境の中で暮らすチベットの人々にも、近代化の波はおしよせている。

しかし彼らは祈りを忘れたわけではない。チベットの宗教と文化、そこから我々は何を見つけたのだろうか。

プログラム：

- ① 2月23日(木) 17:50～19:20
「ツァムパ（麦焦がし）とバターの香り—チベット人の衣食住—」
- ② 3月2日(木) 17:50～19:20
「タルチョ（祈りの旗）とチョルテン（仏塔）—チベットの宗教文化—」
- ③ 3月16日(木) 17:50～19:20
「本当の幸せを求めて—チベット仏教の祈り—」

講 師：福田洋一（本学教授）、三宅伸一郎（本学講師・コーディネーター）
会 場：響流館3Fメディアホール 受講料：3,000円
定 員：100名 締 切：2月9日(木)当日消印有効



○アジアに行く② シルクロード—仏法東漸の道—

シルクロードとは、現在の日本では、中国と西方のシリアやローマを結んだ三幹線、〈草原の道〉と〈オアシスの道〉および〈海の道〉の総称として用いる場合が多いようです。

しかし本来は、隊商が中国の特産品である絹を、洛陽や長安（西安）から西方の諸地域に運んだ、中央アジア経由の〈オアシスの道〉を指します。今回は、仏法東漸の道でもある、狭義のシルクロード〈オアシスの道〉の東端に位置する敦煌やトルファンにも焦点をしぼり、東西交渉の諸相について講義します。

プログラム：

- ① 3月1日(木) 14:00～15:30
「仏法東漸—石窟寺院と漢訳仏典—」
- ② 3月8日(木) 14:00～15:30
「関所と旅行証明書—求法僧とソグド商人—」
- ③ 3月15日(木) 14:00～15:30
「シルクロード探検史—敦煌文献とトルファン文書—」

講 師：礪波護（本学教授）
会 場：響流館3Fメディアホール
定 員：100名
受講料：3,000円
締 切：2月15日(木)17:00

案内パンフレットをご希望の方は、下記までお問合せください。
また受講申し込みの際には、ハガキ、FAX、Eメールいずれかにて、
①講座名、②氏名・フリガナ、③〒・住所、
④電話番号を明記してください。

連絡先
教育研究支援課KO係
TEL：075-411-8161 FAX：075-411-8162
MAIL：opensemi@sec.otani.ac.jp
※講座名、日程、受講料など変更になる場合があります。
その旨ご了承くださいませようお願いいたします。

2006年度学年暦

	【前期】							【後期】																												
	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土																					
4月							1	4月								10月	1	2	3	4	5	6	7	10月	9	10	11	12	13	14						
	2	3	4	5	6	7	8		8	9	10	11	12	13	14		9日(月) ◇体育の日=授業実施																			
	9	10	11	12	13	14	15		15	16	17	18	19	20	21		9日(月) } ◇聴講登録確認表配布 11日(水) } ◇修正登録確認期間																			
	16	17	18	19	20	21	22		22	23	24	25	26	27	28		13日(金) ◇開学記念日																			
	23	24	25	26	27	28	29		29	30	31	21日(土) ◇補講日																								
	30																25日(水) ◇宗祖御命日勤行・講話																			
																		31日(火) ◇「卒業研究」提出最終日 (仏教科・文化学科)																		
5月	1	2	3	4	5	6	5月	1	2	3	4	11月	5	6	7	8	9	10	11	11月	3日(金) ◇文化の日=授業実施															
	7	8	9	10	11	12		13	12	13	14		15	16	17	18	10日(金) } ◇学園祭期間(予定)																			
	14	15	16	17	18	19		20	19	20	21		22	23	24	25	13日(月)																			
	21	22	23	24	25	26		27	26	27	28		29	30	23日(木) ◇労労感謝の日																					
	28	29	30	31													27日(月) ◇大学報恩講(午後授業実施)																			
																		28日(火) ◇宗祖御正忌																		
																		30日(木) ◇「卒業研究」提出最終日 (幼児教育科)																		
6月	1	2	3	6月	1	2	3	6月	4	5	6	7	8	9	10	12月	3	4	5	6	7	8	9	12月	2日(土) ◇補講日											
	4	5	6		7	8	9		10	10	11	12	13	14	15		16	11日(月) ◇「修士論文」提出最終日																		
	11	12	13		14	15	16		17	17	18	19	20	21	22		23	16日(土) ◇補講日																		
	18	19	20		21	22	23		24	24	25	26	27	28	29		30	23日(土) ◇天皇誕生日																		
	25	26	27		28	29	30		31									25日(月) } ◇冬期休暇																		
																			1月5日(金)																	
																			12月27日(水) ◇宗祖御命日勤行																	
7月	1	7月	1	2	3	7月	4	5	6	7	8	7月	1	2	3	4	5	6	1月	7	8	9	10	11	12	13	1月	1月1日(月) ◇元日								
	2		3	4	5		6	7	8	14	15		16	17	18	19	20	8日(月) ◇成人の日																		
	9		10	11	12		13	14	15	21	22		23	24	25	26	27	9日(火) ◇修正会																		
	16		17	18	19		20	21	22	28	29		30	31	10日(水) ◇「卒業論文」提出最終日																					
	23		24	25	26		27	28	29									24日(水) } ◇後期定期試験																		
	30		31																	2月2日(金)																
																				1月26日(金) ◇宗祖御命日勤行																
8月	1	2	3	4	5	8月	6	7	8	9	10	11	12	8月	4	5	6	7	8	9	10	2月	11	12	13	14	15	16	17	2月	2月11日(日) ◇建国記念の日					
	6	7	8	9	10		11	12	18	19	20	21	22		23	24	12日(月) ◇振替休日																			
	13	14	15	16	17		18	19	25	26	27	28	28日(水) ◇宗祖御命日勤行																							
	20	21	22	23	24		25	26									◇「研究成果報告書」提出最終日 (博士後期課程)																			
	27	28	29	30	31																															
9月	1	2	9月	3	4	5	6	7	8	9	9月	10	11	12	13	14	15	16	9月	4	5	6	7	8	9	10	3月	11	12	13	14	15	16	17	3月	3月16日(金) ◇卒業証書・学位記授与式
	3	4		5	6	7	8	9	18	19		20	21	22	23	24	21日(水) ◇春分の日																			
	10	11		12	13	14	15	16	25	26		27	28	29	30	31	28日(水) ◇宗祖御命日勤行																			
	17	18		19	20	21	22	23																												
	24	25		26	27	28	29	30																												

学生に所用で電話をかける。今時のこととて相手は携帯電話である。

わたし「〇〇さんですか？ゼミの教員の谷口ですが」

学生「(ひそひそ声でほそっと)今電車なんで。後でかけなおしてもいいですか？」カタチは問いかけでありながらも、ろくにこちらの返事も聞かず、電話は、ぷっと切られる。見事である。あるいはまた新幹線の中で、若い男の人が突然立ち上がり、デッキへすっ飛んでいく。マナーモード設定中の携帯電話に着信したのだ。これに対し、大きな着信メロディー(しかもかなり特徴的な)を長々と鳴り響かせ、席についたまま大声で

仕事の話をするのは、圧倒的に「オヤジ」である。彼の電話はマナーモードに入っていない。携帯電話のマナーモードにもいろいろある。「通常マナー」「おやすみマナー」などなど。そこで携帯電話以外のマナーにも、いろいろあるのではないかと考えてみた。

おとなと若い人に関して言えば、これは明らかにモードが異なっていると思われる。

他人に不快な思いをさせないように、人さまの前では自らの行動を「つつしむ」ことをコンセプトとするおとなのマナーを、いま仮に「伝統マナーモード」と名づける。昔から伝えられてきた行動様式で、それを遵守することを小さい

時から仕込まれて育つ。このモードの弱点は、新しい事態を取り込めないその固さである。「オヤジ」は不快にさせようとして席でしゃべるわけではない(と信じたい)。「それはしてはいけないことですよ」と小さい時に教わっていないだけなのだ。

若い人はマナーが悪いと言われることが多い。いわく、電車の中で堂々とお化粧をする、どこにでもべたべた座り込む、学食の食器を灰皿にする、ごみは置きっぱなし。これは伝統マナーモードの「設定なし」と「マナー解除」であると考えられるだろう。「しちゃいけないって教わってないもんね」というのが「設

話題の広場 SQUARE

マナーモード

谷口 奈青理

定なし」、「いけないって知っているけど、やっちゃうもんね」というのが「マナー解除」である。

たしかに育つ過程でおとなは「電車でお化粧しちゃいけません」と教えてはいない。そんなことをするとは思ってもいないからである。「つつしむ」という基本コンセプトさえしっかり共有していれば、あらゆる場面でそうふるまえるようになるというのが伝統マナーモードの考え方である。しかし今の若い人にそれは通用しない。いちいち「設定」が必要なのである。しかも「想定外」の事態が多いため、どうしても設定は後手後手に回る。それではひとつひとつ教えれば伝統マナーを守るかという、必ずしもそうでもない。「マナー解除」があるのだ。意外かもしれないが、彼らには公私の区別はばっちりついている。自分

の部屋では決してしないようなマナー違反を、公共の場で、あえてやるのだ。そこには伝統マナーモード的な「いい子」をすることへの照れやてらいもあるのだろう。

かたや若い人が作り出す、新しいものに関してどうしたらお互いが気持ちよくいられるかをコンセプトとするマナー。こちらも仮に「イマドキ・マナーモード」と名づける。意識の高い人たちによって、新しい時代、社会、事態に柔軟に対応し、「今ここ」での状況に応じて、たんびたんびに作り出される、生きたマナーモードである。その特徴は絶えず更新されていくこと。「遵守」を旨とする伝統マナーモードとは正反対とも言える。

おとなも若い人もお互いのマナー意識の違いを「マナーモード」の違いと認識し、両モードを柔軟

に往復することができたなら、全体のマナーも少しは向上するのではないか。とくにおとなサイドにおける「イマドキ・マナーモード」の設定が遅れている。

しかししかし！マナーが悪いということに関していえば、「オバサン」といわれる人々の右に出ることができる者が、はたしているであろうか？さらに言えば、「オバサン」性とは実は、性別に関係なく、またありとあらゆる年齢層に広く遍く見出し得る、一種の性質、特性なのである。若くても、あるいは男性であっても、「オバサン」度の高い人はいくらでもいるのだ。お互い、お互いに自戒したいものである。



(たにぐち なおり)
助教授 臨床心理学)